

Panasonic®

取扱説明書

デジタルカメラ/ダブルズームレンズキット

品番 **DMC-GF7W**



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～10ページ)を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。(106ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

安全上のご注意

準備・基本

撮る

動画

見る

Wi-Fi

他の機器との接続

その他・Q&A

SQT0533-1
F1214HN1025

目次

準備・基本

ご使用の前に	11
同梱品	12
各部の名前と働き	13
本機で利用できるレンズ	16
撮影前の準備	17
シールドストラップを付ける	17
バッテリーを充電する	17
バッテリーを入れる・取り出す	18
カード(別売)を入れる・取り出す	18
カードをフォーマット(初期化)する	19
記録可能枚数・時間の目安	19
レンズを交換する	20
時計を設定する	21
基本の操作	22
本機の構え方について	22
レンズを繰り出す/収納する[交換レンズ(H-FS12032、H-FS35100)装着時]	22
ズーム操作	23
モニター	23
シャッターボタン(写真の撮影)	24
動画ボタン(動画の撮影)	25
モードダイヤル(撮影モードの選択)	25
コントロールダイヤル	26
カーソルボタン/[MENU/SET]ボタン	26
[DISP.]ボタン(表示情報の切り換え)	26
タッチパネル(タッチ操作)	27
タッチ機能を使って撮る	28
[REC. SETTING RESET]ボタン(撮影設定のリセット)	29
メニューの設定方法	30
よく使うメニューをすぐ呼び出す(クイックメニュー)	31
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)	32

撮る

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)	33
手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)	34
階調豊かな写真に合成する(iHDR)	35
背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)	35
明るさや色合いを変えて撮る	35
自分撮りをする(自分撮りモード)	36

お好みの設定で撮る(プログラムAEモード)	38
絞リ/シャッタースピードを決めて撮る	39
絞リ優先AEモード	39
シャッター優先AEモード	39
マニュアル露出モード	40
絞リ効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)	41
パノラマ写真を撮る(パノラマモード)	41
撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)	42
風景・子ども・人物に最適な設定で撮る	42
風景モード	42
キッズモード	42
人物モード	43
画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)	43
ホワイトバランスを調整する	44
画質とサイズを設定する	45
画像の横縦比を選ぶ	45
記録画素数を設定する	45
画像の圧縮率を設定する(クオリティ)	46
自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)	46
フォーカスモードを選ぶ(AFS、AFF、AFC)	46
オートフォーカスモードを選ぶ	47
手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)	48
露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)	49
露出を補正して撮る	50
ISO感度を設定する	50
シャッター方式を設定する	51
単写/連写/オートブラケット/セルフタイマーを選ぶ(ドライブモード)	51
連写する	52
露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)	53
セルフタイマーを使って撮る	54
操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)	54
手ブレを補正する	55
望遠効果を上げる	56
フラッシュを使って撮る	57
フラッシュモードを切り換える	57



「安全上のご注意」を必ずお読みください (4～10ページ)

動画

動画を撮る 58

スナップムービーを撮る 59

見る

写真を見る 61

動画を見る 61

再生方法を切り換える 62

再生画面を拡大する (再生ズーム) 62

複数の画像を一覧表示する (マルチ再生) 62

画像を撮影日ごとに表示する
(カレンダー再生) 62

画像を消去する 63

撮影した動画を2つに分ける (動画分割) 64

Wi-Fi

Wi-Fi® 機能について 64

Wi-Fi 機能でできること 66

スマートフォン/タブレットと

つないで使う 66

スマートフォン/タブレットアプリ

[Image App] をインストールする 66

スマートフォン/タブレットと接続する 67

スマートフォン/タブレットで撮影する

(リモート撮影) 69

カメラの画像を再生する 69

カメラの画像を保存する 70

カメラの画像をSNSへ送信する 70

スマートフォン/タブレットから

カメラの画像に位置情報を追加する 71

スナップムービーで撮影した動画を

スマートフォン/タブレットで

お好みに結合する 72

無線アクセスポイントを経由して

パソコンと接続する 72

他の機器との接続

テレビで見る 75

写真や動画をパソコンに残す 76

付属のソフトウェアを使う 76

その他・Q&A

別売品のご紹介 80

モニターの表示 82

メッセージ表示 84

メニュー一覧 85

撮影 85

動画 87

カスタム 88

セットアップ 90

再生 91

Q&A 故障かな?と思ったら 92

使用上のお願い 97

無線LAN使用上のお願い 101

仕様 102

さらに詳しい説明は 106

CLUB Panasonic

ご愛用者登録のご案内 107

「パナソニックスマートアプリ」のご案内 108

保証とアフターサービス

(よくお読みください) 109

本文中の記号について

MENU : [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。



カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。



上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。



特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ] →

● 本書では交換レンズ(H-FS12032)を用いて説明をしています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければ
ならない内容です。



気をつけていた
だく内容です。

危険



バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものはいずれも使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起これば、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠ 危険



バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、
けがをする原因になります。

⚠ 警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

・電源を切り、販売店にご相談ください。



チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100V～240V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

⚠ 警告



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

- 本体やチャージャーには、金属部があります。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

警告



メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

長時間で使用する場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※ やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

⚠ 警告



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

注意



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ (特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

3Dの撮影について



3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ (別売: H-FT012) 装着時の最短撮像距離は0.6 mです。



3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

⚠ 注意

3Dの視聴について



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。



■ 近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■ 3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。



3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる
長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

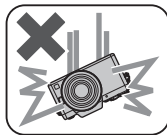


3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする
お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいので、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様のご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて



本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - － 本機を落とす、またはぶつける
 - － レンズ部やモニターを強く押さえつける



本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

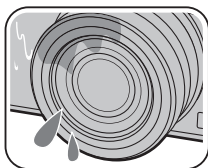
ほこり・水・砂などの多い場所での使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
 - － 砂やほこりの多いところ
 - － 雨の日や浜辺など水がかかるところ



デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。
センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ 露付きについて(レンズ、モニターが曇るとき)



- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

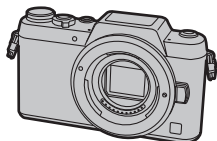
■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

同梱品



デジタルカメラボディ(本文中では本体と表記します)

付属品をご確認ください。

DMC-GF7W(ダブルズームレンズキット商品)に同梱

☐  交換レンズ※1 H-FS12032 (本文中ではレンズと表記します)	☐  レンズキャップ※2 VYF3562
☐  交換レンズ H-FS35100 (本文中ではレンズと表記します)	☐  レンズフード SYA0025 ☐  レンズキャップ※2 SYF0014 ☐  レンズリアキャップ※2 VFC4605
☐  バッテリーパック DMW-BLH7 (本文中ではバッテリーと表記します) ●充電してからお使いください。	☐  CD-ROM ●ソフトウェア (パソコンにインストールしてお使いください) ●取扱説明書 活用ガイド
☐  バッテリーチャージャー DE-A99A (本文中ではチャージャーと表記します)	☐  USB 接続ケーブル K1HY08YY0031 ☐  ショルダーストラップ VFC5071

※1 お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています。

※2 お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

●記載の品番は2015年1月現在のものです。変更されることがあります。

●カードは別売です。

●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

●小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

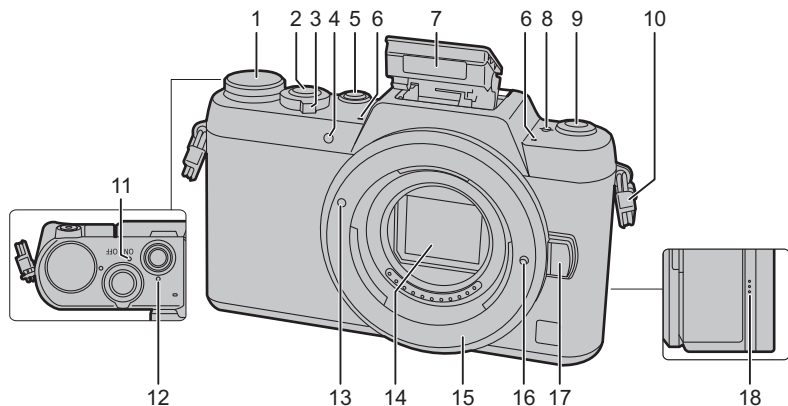
パナソニックの家電製品直販サイト「[パナソニック ストア]」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「[パナソニック ストア]」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

各部の名前と働き

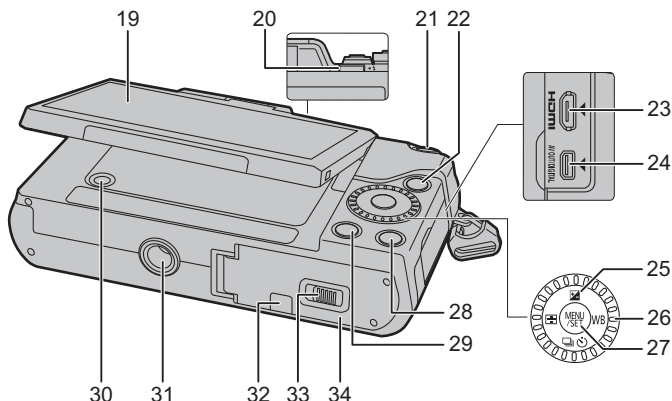
■ デジタルカメラボディ



準備・基本

1	モードダイヤル(P25)	電源表示ランプ(P21)/ Wi-Fi®接続ランプ(P65)
2	シャッターボタン(P24)	●電源[ON]時は緑色に、Wi-Fi接続時は青色に点灯します。
3	電源スイッチ(P21)	12 インテリジェントオートランプ(P33)
4	セルフタイマーランプ(P54)/ AF補助光ランプ	13 レンズ取り付けマーク(P20)
5	インテリジェントオート iA ボタン(P33)	14 センサー
6	ステレオマイク(P87)	15 マウント
7	●マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。	16 レンズロックピン
8	フラッシュ発光部(P57)	17 レンズ取り外しボタン(P21)
9	ワイファイ [Wi-Fi] ボタン(P65)/ ファンクション [Fn1] ボタン(P32)	スピーカー
10	ショルダーストラップ取り付け部(P17)	18 ●スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

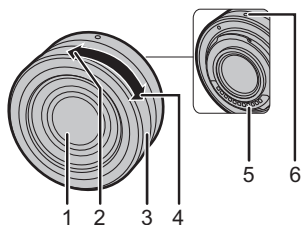
各部の名前と働き (続き)



19	タッチパネル(P27)/モニター(P23)	28	ディスプレイ [DISP.] ボタン(P26) ● 押すごとにモニターの表示を切り換えます。
	フラッシュオープンレバー(P57)		
20	● フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。		
21	動画ボタン(P58)		
22	[▶](再生)ボタン(P61)		
23	[HDMI] 端子 (P75)	29	[Q.MENU/⏮](クイックメニュー/戻る)ボタン (P31)
24	アウト デジタル [AV OUT/DIGITAL] 端子 (P75、78)		
	カーソルボタン(P26) ▲(上)/[](露出補正)(P35、40、50) ▶(右)/[WB](ホワイトバランス)(P44) 25 ▲(左)/[](オートフォーカスモード)(P47) ▼(下)/[](ドライブモード)(P51) – 単写(P52)/連写(P52)/オートブラケット(P53)/セルフタイマー(P54)	30	レコーディング セッティング リセット [REC. SETTING RESET] ボタン(P29) ● 撮影設定を初期設定に戻します。
26	コントロールダイヤル(P26)		
27	メニュー セット [MENU/SET] ボタン(P26)	31	三脚取り付け部 ● ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。
		32	DCカプラー扉 ● ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC15)を使用してください。
		33	開閉レバー(P18)
		34	カード/バッテリー扉(P18)

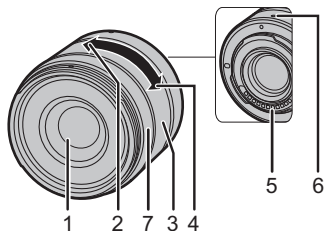
■ 同梱レンズ

H-FS12032



- | | |
|---|-----------------|
| 1 | レンズ面 |
| 2 | T側(望遠) |
| 3 | ズームリング(P23) |
| 4 | W側(広角) |
| 5 | 接点 |
| 6 | レンズ取り付けマーク(P20) |
| 7 | フォーカスリング(P48) |

H-FS35100



- 交換レンズ(H-FS12032)にはフォーカスリングがありませんが、本体を操作してマニュアルフォーカスを行えます。詳しくは、48 ページをお読みください。

本機で使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。

また、マウントアダプターを装着することで以下のマウント規格のレンズを使用することができます。



レンズ	マウントアダプター
フォーサーズ™ マウント規格レンズ 	マウントアダプター(別売: DMW-MA1)
ライカ M マウント規格レンズ	M マウントアダプター(別売: DMW-MA2M)
ライカ R マウント規格レンズ	R マウントアダプター(別売: DMW-MA3R)

- お使いのレンズによっては、実際にピントの合う距離とレンズの距離表示が多少ずれる場合があります。
- ライカレンズ用マウントアダプター使用時は、[レンズ無しリリース](P89)を[ON]に設定してください。

お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

対応レンズの最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- お使いのレンズの絞り値によって、フラッシュ撮影可能範囲などが異なります。
- お使いのレンズに表記されている焦点距離は、35 mm フィルムカメラで換算すると2倍に相当します。(50 mm レンズを使用した場合は、35 mm 換算で100 mm レンズ相当になります) 3D交換レンズについては、ホームページでご確認ください。

お使いの交換レンズのファームウェアについて

より快適な撮影のために、交換レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

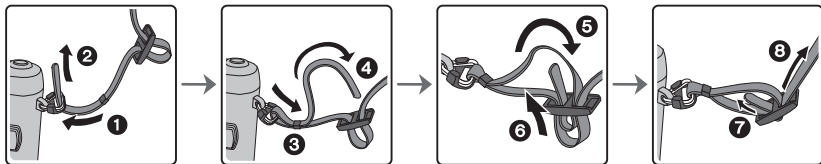
- ファームウェアの最新情報やダウンロードについては、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 交換レンズのファームウェアのバージョンは、本体に交換レンズを取り付けて、セットアップメニューの[バージョン表示]でご確認ください。

撮影前の準備

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

ショルダーストラップを付ける

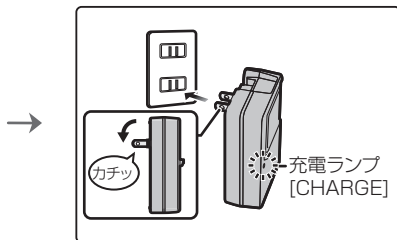
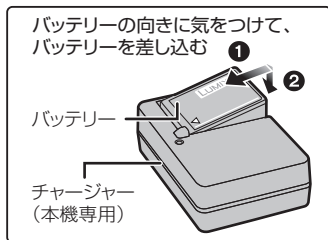
- 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。



- 手順①～⑧の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーはDMW-BLH7です。



■ 充電ランプの表示について

点灯: 充電中

消灯: 充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

■ 充電時間について

充電時間

約130分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

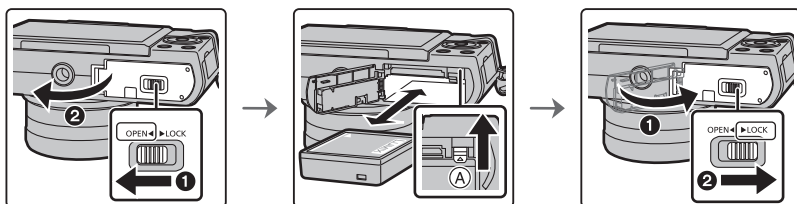


海外旅行先で充電する

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

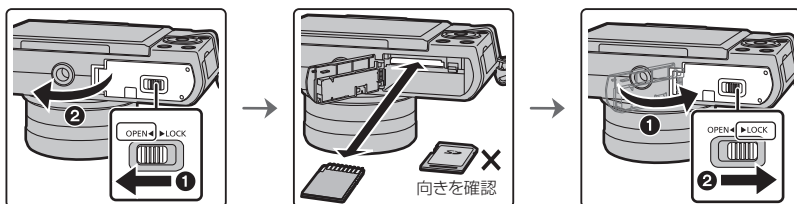
- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

バッテリーを入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに (A) のレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、(A) のレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。

カード(別売)を入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

■ 本機で使えるカードについて

SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/miniSDカード※/microSDカード※

SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※

SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影とSDスピードクラスについて

動画撮影の際は、カードのラベル面などでSDスピードクラス(連続的な書き込みに関する速度規格)をご確認ください。[AVCHD]、[MP4]動画には「Class4」以上のカードを使用してください。

(例)



- 最新情報は下記サポートサイトで確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

メニューを設定する(P30)

MENU ボタン → [セットアップ] → [フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ[] の場合

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	900	1810	3640	7260
M(8M)	1650	3340	6690	13000
S(4M)	2800	5670	11360	21480

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ[RAW] の場合

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	270	550	1110	2230
M(8M)	320	640	1300	2580
S(4M)	340	700	1410	2800

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]	37m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/17M/60i]	1h00m	2h00m	4h5m	8h15m
[FHD/24M/30p]/ [FHD/24M/24p]	43m00s	1h25m	2h55m	5h50m

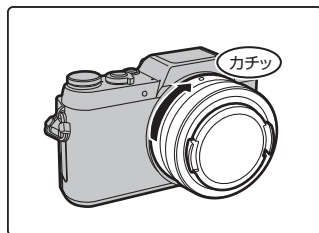
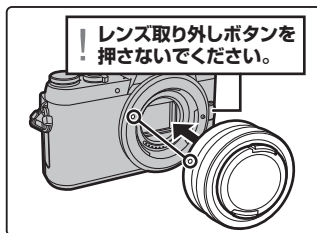
● 記録方式 [MP4] の場合

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]	37m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/20M/30p]	49m00s	1h40m	3h20m	6h40m
[HD/10M/30p]	1h30m	3h10m	6h25m	12h50m
[VGA/4M/30p]	3h25m	7h00m	14h10m	28h15m

- 周囲の温度が高いときや連続で撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、本機を保護するために以下の制限が働きます。本機の温度が下がるまでお待ちください。
 - 連写撮影、動画撮影、Wi-Fi接続が一時的に使用できなくなります
 - 画面に[△]が点滅した場合、そのまま撮影を続けるとメッセージが表示され、電源が自動的に切れます
- [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。([MP4]の[FHD/28M/60p]、[FHD/20M/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)

レンズを交換する

- 交換レンズ(H-FS12032、H-FS35100)をお使いのときは、レンズの取り付け・取り外しは、レンズ鏡筒が収納されている状態で行ってください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。



■ レンズの取り外し方

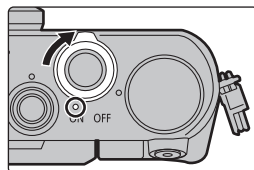
- 1 レンズキャップを付ける
- 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



時計を設定する

●お買い上げ時は、時計設定されていません。

- 1 電源スイッチを [ON] にする
 - 電源が入ると電源表示ランプが緑色点灯します。
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する
- 4 [MENU/SET] ボタンを押す
 - [時計を設定しました]が表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。
 - ワールドタイムの[ホーム]の設定を促すメッセージが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 5 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 交換レンズ(H-FS12032、H-FS35100)装着時、レンズ鏡筒が収納されている状態ではメッセージが表示され、撮影することができません。ズームリングを回し、レンズを繰り出してください。(P22)



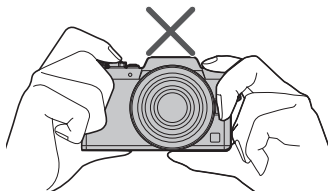
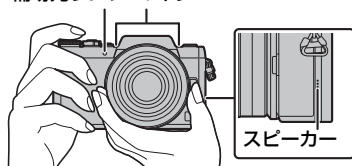
基本の操作

本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。

AF補助光ランプ マイク



レンズを繰り出す/収納する

[交換レンズ(H-FS12032、H-FS35100)装着時]

■ レンズを繰り出す

レンズ収納状態(Ⓐの位置)から、ズームリングを矢印①の方向に回し、Ⓑの位置[12 mm～32 mm(H-FS12032)、35 mm～100 mm(H-FS35100)]にしてレンズを繰り出す。

- レンズ鏡筒が収納されている状態では、撮影することができません。

■ レンズの収納

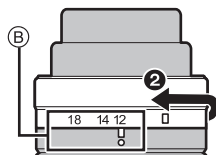
Ⓑの位置[12 mm～32 mm(H-FS12032)、35 mm～100 mm(H-FS35100)]から、ズームリングを矢印②の方向に回し、Ⓐの位置に合わせて収納する。

- 12 mmの位置(H-FS12032)または35 mmの位置(H-FS35100)でクリック感がありますが、そのまま Ⓐの位置まで回してください。
- 撮影しないときは収納状態にしておくことをお勧めします。

例: H-FS12032



レンズを収納している状態

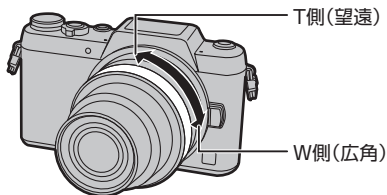


レンズを繰り出した状態

ズーム操作

- 交換レンズ(H-FS12032、H-FS35100)の場合

レンズのズームリングを回す



モニター

モニターの角度を調整することができます。

- モニターに指などを挟まないようにお気をつけください。
- モニターを回転させるときは、無理な力を加えないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、モニターを元の位置に完全に閉じてください。

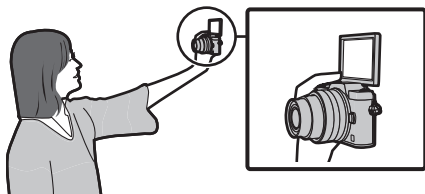


■ いろいろなアングルで撮る

モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

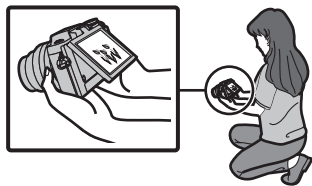
- AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

自分撮り



- モニターを図のように回転させると自分撮りモードになります。(P36)

ローアングル撮影

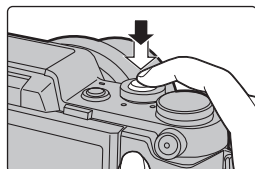


シャッターボタン(写真の撮影)

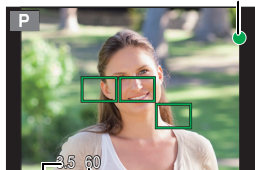
シャッターボタンは2段式になっています。押すことで写真の撮影を行います。

シャッターボタンを半押し(軽く押す)して
ピントを合わせる

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)

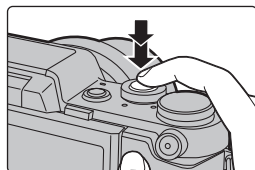


フォーカス表示



絞り値 シャッタースピード

シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して
撮影する



- お買い上げ時は、[フォーカス/リリース優先] (P88) が [フォーカス] に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。

交換レンズ(H-FS12032)装着時	0.2 m～∞[撮像面から](焦点距離 12 mm～20 mm) 0.3 m～∞[撮像面から](焦点距離 21 mm～32 mm)
交換レンズ(H-FS35100)装着時	0.9 m～∞[撮像面から]

- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

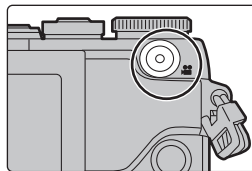
動画ボタン(動画の撮影)

動画ボタンを押すことで、動画撮影の開始と終了の操作を行います。

動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

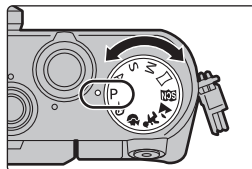
もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する



モードダイヤル(撮影モードの選択)

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

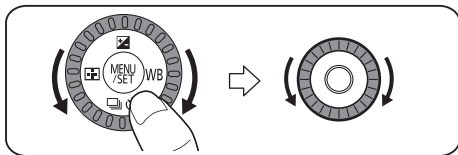


P	プログラムAEモード(P38) カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
A	絞り優先AEモード(P39) 絞り値を決めて撮影します。
S	シャッター優先AEモード(P39) シャッタースピードを決めて撮影します。
M	マニュアル露出モード(P40) 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
	パノラマモード(P41) パノラマの写真を撮影します。
	シーンガイドモード(P42) 撮影シーンに合わせて撮影します。
	風景モード(P42) 風景を撮影します。
	キッズモード(P42) 子どもなど、動いている被写体を撮影します。
	人物モード(P43) 人物を撮影します。
	クリエイティブコントロールモード(P43) 画像効果を確認しながら撮影します。

コントロールダイヤル

コントロールダイヤルを回す: 項目の選択や、数値の設定などを行います。

本書ではコントロールダイヤルを回す操作を右図のように説明しています。

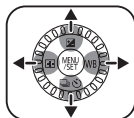


カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す: 項目の選択や、数値の設定などを行います。

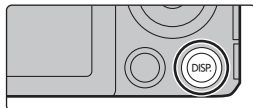
[MENU/SET] ボタンを押す: 設定内容の決定などを行います。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。



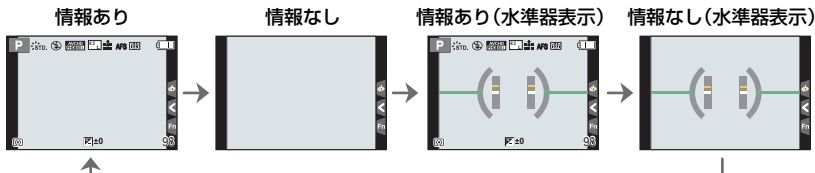
[DISP.] ボタン (表示情報の切り換え)

[DISP.] ボタンを押すと、画面の表示情報が切り換わります。



撮影時

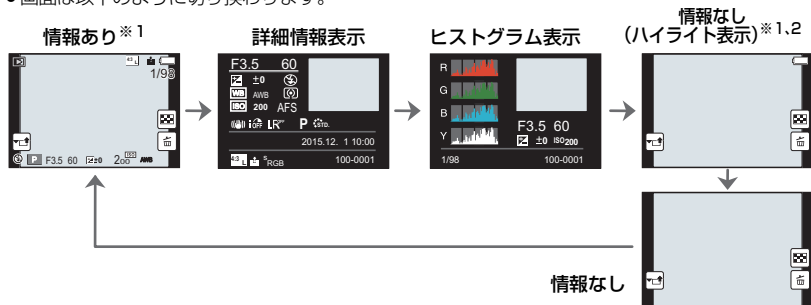
- 画面は以下のように切り換わります。



- 約 1 分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

再生時

- 画面は以下のように切り換わります。



※1 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

※2 カスタムメニューの[ハイライト表示] (P88)を[ON]にしているときのみ表示されます。

タッチパネル(タッチ操作)

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。

■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。

再生時は画像を送ることなどもできます。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。



タッチ機能を使って撮る

タッチシャッター機能を使って撮る

使えるモード:

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1 [] をタッチする



2 [] をタッチする

- アイコンが [] に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ピントが合うと撮影されます。



■ タッチシャッター機能を解除するには

[] をタッチする

狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE)

使えるモード：[iA] [AiAF] [P] [A] [S] [M] [] [SCN] [] [] [] [] []

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 [◀] をタッチする

2 [AE] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチAE専用の[] に変わります。

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。

4 [決定] をタッチする



■ タッチAE機能を解除するには

[AE] をタッチする

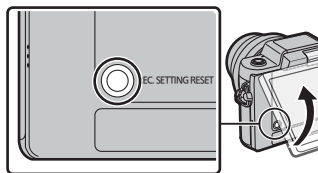
- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

[REC. SETTING RESET] ボタン(撮影設定のリセット)

ボタンを押すと、撮影設定を初期設定に戻すことができます。
使いたい機能が使えなくなったときや、意図しない動作をするときにお試しください。

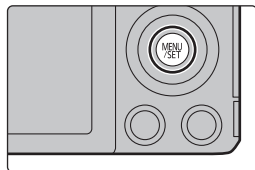
撮影画面を表示中に、
[REC. SETTING RESET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 撮影設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。
ー ドライブモード
- [個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容は変わりません。



メニューの設定方法

1 [MENU/SET] ボタンを押す

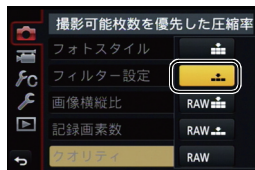


[📷] 撮影(P85)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[📹] 動画(P87)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[f] カスタム(P88)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
[⚙️] セットアップ(P90)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[▶] 再生(P91)	画像の保護、切り抜き、プリントするときには便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。



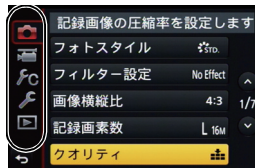
■ メニューを終了する

[Q.MENU/🔍] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換えるには

例) 撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

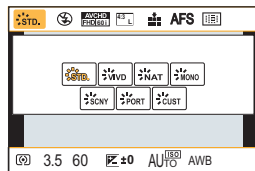
- 1 ◀ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで [] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ
 - コントロールダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンを選べます。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す
 - 続けてメニュー項目を選んで設定してください。



よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- 1 [Q.MENU/] ボタンを押して、クイックメニューを表示する
- 2 コントロールダイヤルを回してメニュー項目を選び、▼ ボタンまたは▲ ボタンを押す
- 3 コントロールダイヤルを回して設定内容を選ぶ
- 4 設定が終了したら [Q.MENU/] ボタンを押してメニューを終了する
 - シャッターボタン半押しでも終了できます。



よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、撮影機能などを割り当てるができます。

1 メニューを設定する(P30)

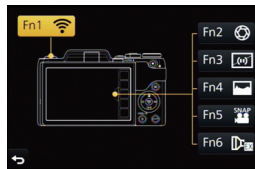
MENU ボタン → **fC** [カスタム] → [Fn ボタン設定]

2 ▲/▼ ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。



撮影メニュー/ 撮影機能	
- Wi-Fi(P65): [Fn1] ※ - AF/AE LOCK(P49) - AF-ON - プレビュー(P41): [Fn2] ※ - ワンタッチAE - タッチAE(P29) - 水準器表示: [Fn3] ※ - ズーム操作(P56) - カーソルボタンロック - フォトスタイル(P85) - フィルター選択 - 画像横縦比(P45) - 記録画素数(P45) - クオリティ(P46)	- ISO感度(P50) - 測光モード(P85) - フォーカスモード(P46) - iD レンジコントロール(P85) - 超解像(P85) - HDR(P85) - シャッター方式(P51) - フラッシュモード(P57) - フラッシュ光量調整 - EX テレコン(写真・動画) (P56): [Fn6] ※ - デジタルズーム(P86) - 手ブレ補正(P55) - デフォルトに戻す
動画撮影メニュー	
- スナップムービー(P59): [Fn5] ※ - 動画記録方式/画質設定(P58)	- 写真撮影(P87)
カスタムメニュー	
- サイレントモード(P54) - ピーキング(P88) - ヒストグラム表示(P88): [Fn4] ※ - ガイドライン表示(P88) - ゼブラパターン表示(P88)	- モノクロライブビュー(P88) - 記録枠表示(P89) - ステップズーム - ズーム速度 - タッチパネル

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード:  

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

カメラが自動でシーンを判別します(自動シーン判別)( 写真撮影時、 動画撮影時)



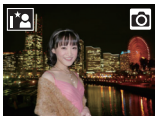
i 人物



i 風景



i マクロ



i 夜景&人物※¹



i 夜景



i 手持ち夜景※²



i 料理



i 赤ちゃん※³



i 夕焼け



i ローライト



iA

※¹ 内蔵フラッシュを開いている場合のみ表示されます。

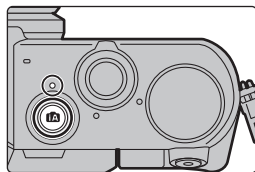
※² [i 手持ち夜景] を [ON] に設定したときのみ表示されます。(P34)

※³ [個人認証] を [ON] に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔・瞳認識したときのみ表示されます。

● どのシーンにも当てはまらない場合は  になり、標準的な設定を行います。

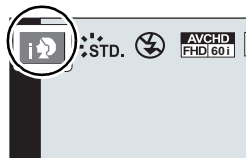
1 ボタンを押す

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。(P34)
- インテリジェントオートモードに切り換わると、インテリジェントオートランプが点灯します。
- もう一度押すとインテリジェントオートランプが消灯し、モードダイヤルで選ばれている撮影モードになります。



2 被写体に画面を合わせる

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。(自動シーン判別)



■ 自動で働く機能について

- カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。
 - 自動シーン判別/逆光補正/顔・瞳認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/
デジタル赤目補正/超解像/iDレンジコントロール/長秒ノイズ除去/シェーディング補正/
クイックAF/AF補助光

■ オートフォーカス/顔・瞳認識/個人認証

オートフォーカスモードは自動で[]に設定されます。被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。カーソルボタンの◀を押し、シャッターボタンを半押ししても追尾AF機能に切り換わります。

- []、[]、[]のとき、ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、ピントを合わせる目を変えることはできません。(顔・瞳認識)

■ フラッシュ

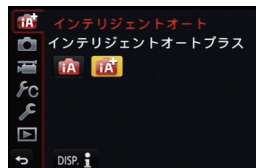
フラッシュを閉じているときは[]に、開いているときは[A] (オート)に設定されます。フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[A]、[s] (赤目軽減オート)、[s]または[s]に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P57)

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには
インテリジェントオートモードは主要な機能が自動設定されるので、難しい設定は不要で撮影できます。より気軽に撮りたいときは、インテリジェントオートモードをお使いください。

- 1 [MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ◀ ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで [A] または [A] タブを選ぶ
- 4 ▶ ボタンで [A] または [A] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

- [DISP.]ボタンを押すと、選択されているモードの説明が表示されます。



手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)

[i手持ち夜景]を[ON]に設定すると、手持ち撮影で夜景を撮影中に[]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の写真に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。

MENU ボタン→[撮影]→[i手持ち夜景]→[ON]/[OFF]

階調豊かな写真に合成する(iHDR)

[iHDR]を[ON]に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

[iHDR]は必要に応じて働きます。働くときは、画面に[HDR]が表示されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [iHDR] → [ON]/[OFF]

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

撮影モード:  

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- インテリジェントオートプラスモード時は、▲ ボタンを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。
- インテリジェントオートモード時は、▲ ボタンを押すごとに、ボケ味コントロール操作と操作の終了が切り換わります。

2 コントロールダイヤルを回してボケ具合を設定する



撮る

明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード: 

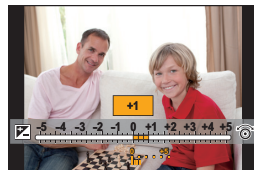
カメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

明るさを設定する

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- ▲ ボタンを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 コントロールダイヤルを回して明るさを調整する



色合いを設定する

- 1 ▶ ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 コントロールダイヤルを回して色合いを調整する
 - 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



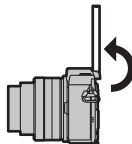
自分撮りをする(自分撮りモード)

使えるモード:

モニターを回転させると、自分撮りモードになります。画面を確認しながら簡単に自分撮りができます。

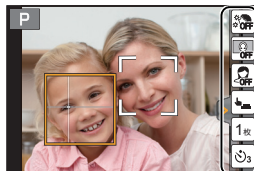
1 モニターを図のように回転させる

- モニターを回転させると、モニターに映る画像が反転(鏡像)します。



2 設定項目をタッチする

※ 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます



美肌効果	人物の顔を明るく、肌色を滑らかにします。 [] (OFF)、[] (弱)、[] (中)※、[] (強)※
背景ぼかし	検出した顔の背景をぼかします。(ただし、後ろのほうに離れている顔は背景と一緒にぼかします) [] (OFF)、[] (ON)※
スリムモード	人物をスリムに撮影します。 [] (OFF)、[] (弱)、[] (強)

 シャッター	シャッター動作を開始する方法を設定します。 [] (本体シャッターのみ)、[] (タッチ)、 [] (フレンドリー)、[] (フェイス)
 撮影枚数	連続撮影する枚数を設定します。 [] (1枚)、[] (2枚)、[] (3枚)、[] (4枚)
 カウントダウン	カウントダウン後に撮影を行います。 [] (OFF)、[] (3)、[] (10)

3 モニターを見ながらポーズを決める

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 撮影時はレンズを見てください。
- フラッシュやAF補助光の光を直接見ないようお気をつけください。

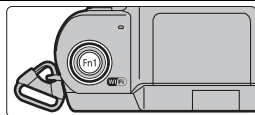


撮
る



[Fn1] ボタンで撮影する

自分撮りモードでは、[Fn1] ボタンがシャッターボタンに変わります。(全押しのみ可能です) 右手でカメラを持って自分撮りを行うことができます。



フェイスシャッター

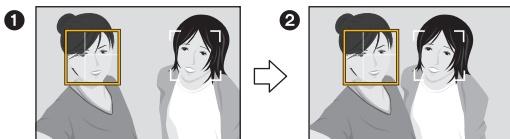
顔・瞳認識機能を使って、認識した顔を手などで隠してから再度認識させるとシャッター動作を開始します。



- ① 顔・瞳認識の黄色の枠が表示されている状態にする
- ② 手などで顔を隠して黄色の枠を一時的に消す
- ③ 手を外して黄色の枠を表示させると、シャッター動作を開始します

フレンドリーシャッター

顔・瞳認識機能を使って、認識した2つの顔が近づいたときにシャッター動作を開始します。



① 顔・瞳認識の枠が2つ表示されている状態にする

- [Fn] (フレンドリー) 設定時は、被写体が複数人いても、顔・瞳認識の枠は2つまでになります。

② 2つの枠が一定距離以内に近づくと、シャッター動作を開始します

お好みの設定で撮る (プログラム AE モード)

撮影モード: [P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを [P] に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。



絞り値 シャッタースピード

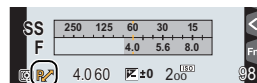
プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、コントロールダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを [OFF] にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、コントロールダイヤルを回してください。



プログラムシフト表示

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード： **A** **S** **M**

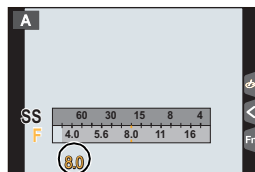
- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P41)
- コントロールダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

A： 絞り優先AE モード

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを **[A]** に合わせる
- 2 コントロールダイヤルを回して絞り値を設定する

- カールソボタンの▲を押すごとに、絞り値設定操作と露出補正操作が切り換わります。



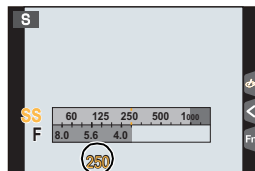
撮る

S： シャッター優先AE モード

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを **[S]** に合わせる
- 2 コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- カールソボタンの▲を押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。



M: マニュアル露出モード

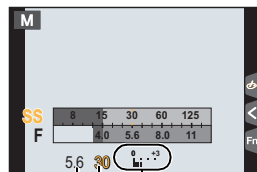
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 コントロールダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

- カーソルボタンの▲を押すごとに、絞り値設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。



絞り値
マニュアル
露出アシスト
シャッタースピード



マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

■ T(タイム)について

シャッタースピードをT(タイム)に設定し、シャッターボタンを全押しすると、露光を開始します。(最大約60秒間)シャッターボタンをもう一度押すと、露光を終了します。

露光する時間をお好みに調整できるので、花火や夜景などの撮影に便利な機能です。

- シャッタースピードをT(タイム)に設定すると、画面に[T]が表示されます。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- 電子シャッター使用時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。
- タイム撮影時は、手ブレ防止のために三脚を使用し、スマートフォンと接続してリモート撮影することをお勧めします。(P69)



撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する/しない

MENU ボタン→**f/c**[カスタム]→[常時プレビュー(Mモード)]→[ON]/[OFF]

- フラッシュ使用時は働きません。フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード:       

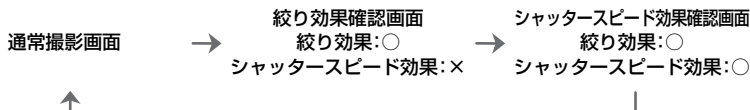
1 ファンクションボタンに[プレビュー]を設定する(P32)

- 次の手順は、[Fn2]に[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 をタッチする

3 [Fn2] をタッチして確認画面を切り換える

- [Fn2]をタッチすることにより画面が切り換わります。



パノラマ写真を撮る(パノラマモード)

撮影モード: 

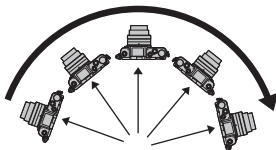
カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

1 モードダイヤルを に合わせる

- 撮影方向を確認する画面が表示されたあと、水平/垂直ガイドが表示されます。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

3 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす 左から右へ撮影する場合



撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

4 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード)

撮影モード: 

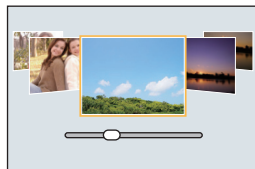
作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ

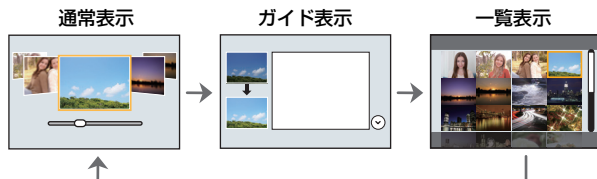
- 作例写真やスライダーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



■ シーンを選ぶ画面表示を切り換えるには
[DISP.] ボタンを押して切り換える

- ガイド表示に切り換えると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。



風景・子ども・人物に最適な設定で撮る

撮影モード:   

被写体に最適な露出や色調、ピントの合わせ方などをカメラが設定します。

風景モード

青空や緑を鮮やかにすることで、風景をきれいに撮影できます。

モードダイヤルを [LAND] に合わせる

キッズモード

シャッタースピードを速くしてブレを抑えることで、動いている子どもなどをきれいに撮影できます。

モードダイヤルを [M] に合わせる

- 設定が以下に切り換わります。
 - ドライブモード: 連写 ([M])
 - タッチシャッター機能: 有効
 - [フォーカスモード]: [AFF]

人物モード

顔の明るさを適正にして、背景をぼかすことで、人物をきれいに撮影できます。

モードダイヤルを [M] に合わせる

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

撮影モード: 

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

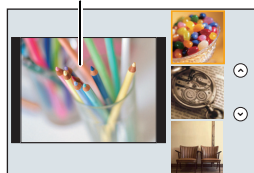
- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

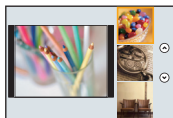
■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面表示を切り換えるには
[DISP.] ボタンを押して切り換える

- ガイド表示に切り換えると、選択されている画像効果の説明が表示されます。

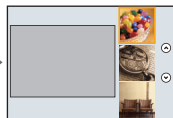
プレビュー表示



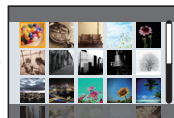
通常表示



ガイド表示



一覧表示

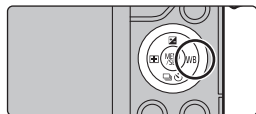


ホワイトバランスを調整する

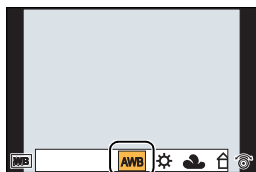
使えるモード:         

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ►(WB)ボタンを押す



2 コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ



AWB	自動調整
	晴天の屋外での撮影時
	曇りの屋外での撮影時
	屋外の晴天下の日陰での撮影時
	白熱灯下での撮影時
	フラッシュ光のみでの撮影時
	ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。 ① ▲ ボタンを押す ② 白い紙など白いもののだけを枠内に映し、[MENU/SET] ボタンを押す ● ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。
	撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。 ① ▲ ボタンを押す ② ▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

画質とサイズを設定する

画像の横縦比を選ぶ

使えるモード：

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン→[撮影]→[画像横縦比]

4:3	4:3テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1	正方形横縦比

●プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。

記録画素数を設定する

使えるモード：

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン→[撮影]→[記録画素数]

画像横縦比：[4:3]のとき

設定	画像サイズ
L(16M)	4592×3448
EXM(8M)	3232×2424
EXS(4M)	2272×1704

画像横縦比：[3:2]のとき

設定	画像サイズ
L(14M)	4592×3064
EXM(7M)	3232×2160
EXS(3.5M)	2272×1520

画像横縦比：[16:9]のとき

設定	画像サイズ
L(12M)	4592×2584
EXM(8M)	3840×2160
EXS(2M)	1920×1080

画像横縦比：[1:1]のとき

設定	画像サイズ
L(11.5M)	3424×3424
EXM(6M)	2416×2416
EXS(3M)	1712×1712

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード:  P A S M    

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
RAW 	RAW+JPEG	RAW 画像と JPEG 画像( または ) を同時に記録できます。 ^{※1}
RAW 		
RAW	RAW	RAW 画像のみを記録できます。 ^{※2}

※1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

※2 各画像横縦比の最大記録画素数(L)に固定されます。

● RAW ファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。

自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードやオートフォーカスモードを設定することで、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

フォーカスモードを選ぶ(AFS、AFF、AFC)

使えるモード:  P A S M    

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [フォーカスモード]

項目	被写体の動き、撮影シーン(お勤め)/内容
AFS (Auto Focus Single)	静止している(風景、記念撮影など) シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF (Auto Focus Flexible)	動きが予測できない(子ども、ペットなど) シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。

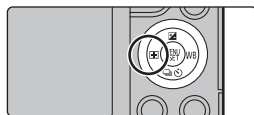
AFC (Auto Focus Continuous)	動いている(スポーツ、鉄道など) シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)
MF	手動でピントを合わせます。(P48)

オートフォーカスモードを選ぶ

使えるモード: **P A S M**

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

- 1 ◀() ボタンを押す
- 2 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



撮
る

 (顔・瞳認識)	人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉]設定時) ●検知できる顔は15個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。	
 (追尾)	指定した被写体にピントを合わせます。被写体に露出を合わせます。([測光モード]を[☉]設定時) 被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾)	
 (23点)	最大23点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。	
 (1点)	中央のAFエリア内にピントを合わせます。	
 (ピンポイント)	[] より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。	

手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

使えるモード:  **P A S M**    

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

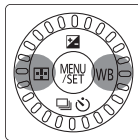
手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

フォーカスリングのない交換レンズ(H-FS12032)をお使いの場合

- ▶ ボタンを押す: 近くにピントを合わせる
- ◀ ボタンを押す: 遠くにピントを合わせる
- ピントを合わせる画面でのみ操作できます。
- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライドバーをドラッグすることでも、ピント合わせができます。

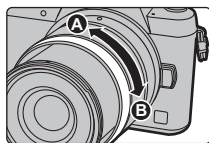


スライドバー



フォーカスリングのある交換レンズ(H-FS35100)をお使いの場合

- A** 側に回す: 近くにピントを合わせる
- B** 側に回す: 遠くにピントを合わせる



1 メニューを設定する(P30)

MENU ボタン →  [撮影] → [フォーカスモード] → [MF]

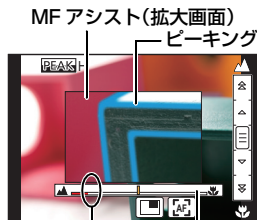
2 ◀() ボタンを押す

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MFアシスト)
- [DISP.] ボタンを押すとピントを合わせる位置は中央に戻ります。

4 ピントを合わせる

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MF ガイド)



∞(無限)を示す目安 MFガイド

以下の操作ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶※	ドラッグ	拡大表示位置の移動
—	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	—	画面を大きく拡大/縮小
—		拡大表示の切り換え(画面の一部/画面全体)
[DISP.]※	[リセット]※	拡大表示する部分を中央に戻す

※ フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合、▼ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させると操作ができます。

5 シャッターボタンを半押しする

- アシスト画面が終了し、撮影画面が表示されます。
- [MENU/SET] ボタンを押すことでも、アシスト画面を終了できます。

撮
る

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード：

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

1 ファンクションボタンに[AF/AE LOCK]を設定する(P32)

- [AF/AE LOCK]は[Fn1]ボタンだけに割り当てることができます。

2 被写体に画面を合わせる

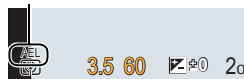
3 [Fn1] ボタンを押し、ピントや露出を固定する

- もう一度[Fn1]ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。カスタムメニューの [AF/AE ロック切換] で、ピントや露出の固定内容を変えられます。

4 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AE ロック表示

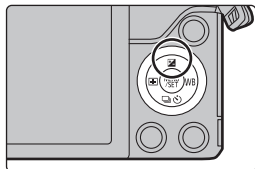


露出を補正して撮る

使えるモード： P A S M

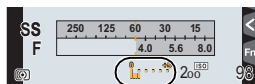
被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

- 1 ▲() ボタンを押して露出補正操作に切り換える



- 2 コントロールダイヤルを回して、露出を補正する

● 露出を補正しない場合は、“0”を選んでください。



露出補正表示

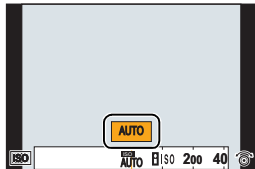
ISO感度を設定する

使えるモード： P A S M

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

- 1 メニューを設定する(P30)

MENU ボタン → [撮影] → [ISO感度]
- 2 コントロールダイヤルを回してISO感度を選ぶ
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。
ISO	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。
200 ~ 25600	それぞれのISO感度に固定します。

シャッター方式を設定する

使えるモード：       

電子先幕方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。	露光の開始と終了を電子的に行う方式です。
フラッシュ	○	×
シャッター スピード	T(タイム)※、60秒～1/500秒	1秒～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音+電子シャッター音	電子シャッター音

※ マニュアル露出モード時のみ設定できます。(P40)

メニューを設定する(P30)

MENU ボタン→  [撮影]→[シャッター方式]	
AUTO	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 ●フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、電子先幕方式を優先して使います。
電子先幕	電子先幕方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

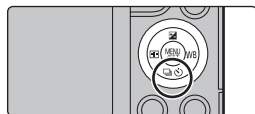
- 画面に[]が表示されている場合は、電子シャッターで撮影されます。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P39)

単写/連写/オートブラケット/セルフタイマーを選ぶ(ドライブモード)

使えるモード：       

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 ▼() ボタンを押す



2 ◀▶ ボタンでドライブモードを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

① 単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
② 連写(下記)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
③ オートブラケット(P53)	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
④ セルフタイマー(P54)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。



●▲ ボタンを押すと、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。

■ 連写 / オートブラケット / セルフタイマーを解除するには
ドライブモードから[](単写)または[](OFF)を選ぶ

連写する

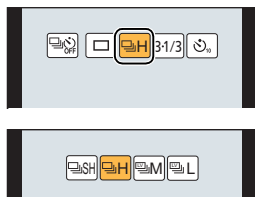
使えるモード: [P] [A] [S] [M] [SCN] [] [] [] [] []

● 連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 ▼ () ボタンを押す

2 ◀▶ ボタンで連写アイコン([H])などを選び、▲ ボタンを押す

3 ◀▶ ボタンで連写速度を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



		[SH](超高速)	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度	電子先幕	—	5.8 コマ/秒(AFS 時) 5 コマ/秒(AFC 時)	4 コマ/秒	2 コマ/秒
	電子シャッター	40 コマ/秒	10 コマ/秒	4 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり

4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



- 周囲の温度が高いときや連続で撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、本機を保護するために以下の制限が働きます。本機の温度が下がるまでお待ちください。
 - 連写撮影、動画撮影、Wi-Fi接続が一時的に使用できなくなります
 - 画面に[△]が点滅した場合、そのまま撮影を続けるとメッセージが表示され、電源が自動的に切れます

露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影)

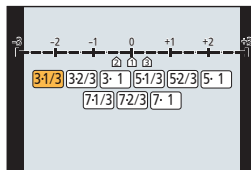
使えるモード：

1 ▼ () ボタンを押す

2 ◀/▶ ボタンでオートブラケットアイコン ([3/1/3] など) を選び、▲ ボタンを押す



3 ◀/▶ ボタンで補正幅を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。



■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 メニューを設定する (P30)

MENU ボタン → [撮影] → [オートブラケット]

2 ▲/▼ ボタンで [単写/連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

撮る

セルフタイマーを使って撮る

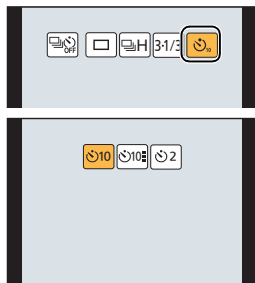
使えるモード: **P** **A** **S** **M**

1 ▼ () ボタンを押す

2 ◀/▶ ボタンでセルフタイマーアイコン
() など)を選び、▲ ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンでセルフタイマーの時間を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。



4 シャッターボタンを半押しして
ピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。



操作音と発光の禁止を一括で設定する (サイレントモード)

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使くと便利です。

メニューを設定する(P30)

MENU ボタン → [カスタム] → [サイレントモード]

設定: [ON]、[OFF]

- スピーカーからの音声は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。

- [シャッター方式]: [電子シャッター] - [電子音音量]: [OFF] (OFF)
 - [フラッシュモード]: [Ⓢ] (発光禁止) - [シャッター音音量]: [OFF] (OFF)
 - [AF 補助光]: [OFF]

- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。
 - 電源表示ランプ - セルフタイマーランプ
 - インテリジェントオートランプ - Wi-Fi 接続ランプ
- レンズの絞り音などの動作音は消音されません。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

手ブレを補正する

使えるモード:  P A S M 

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

手ブレ補正機能に対応したレンズが必要です。

- 交換レンズ(H-FS12032、H-FS35100)には、手ブレ補正機能があります。

- O.I.S.スイッチのある別売の交換レンズをご使用の場合は、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。(お買い上げ時は[OFF]に設定されています)

■ 撮影メニューで手ブレ補正を設定する

1 メニューを設定する(P30)

MENU ボタン →  [撮影] → [手ブレ補正]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

 (通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
 (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。
OFF	手ブレ補正は働きません。

望遠効果を上げる

使えるモード:

EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

写真撮影時	[EX テレコン(写真)]	1.2 倍: [EX M] ([16:9]) 1.4 倍: [EX M] ([4:3], [3:2], [1:1]) 2.0 倍: [EX S] ([4:3], [3:2], [16:9], [1:1])
-------	---------------	--

- 記録画素数を [M] または [S] ([EX] 付きの記録画素数) に、クオリティを または に設定してください。

動画撮影時	[EX テレコン(動画)]	2.4 倍 ([画質設定] のサイズが [FHD] の動画) 3.6 倍 ([画質設定] のサイズが [HD] の動画) 4.8 倍 ([画質設定] のサイズが [VGA] の動画)
-------	---------------	---

■ ズーム倍率を段階的に拡大する

- 写真撮影時のみ使えます。

1 メニューを設定する (P30)

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [ZOOM]

2 ファンクションボタンに [ズーム操作] を設定する (P32)

- 次の手順は、[Fn1] に [ズーム操作] を設定した場合の例です。

3 [Fn1] ボタンを押す

4 ◀/▶ ボタンまたは ▲/▼ ボタンを押す

▲/▶ ボタン: T 側 (望遠、大きく撮る)

▼/◀ ボタン: W 側 (広角、広く撮る)

- もう一度 [Fn1] ボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。



■ ズーム倍率を最大に固定する

メニューを設定する (P30)

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [TELE CONV.]

MENU ボタン → [動画] → [EX テレコン(動画)] → [ON]

フラッシュを使って撮る

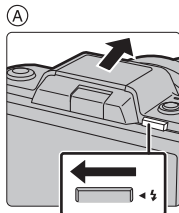
使えるモード：

■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

① 開くとき

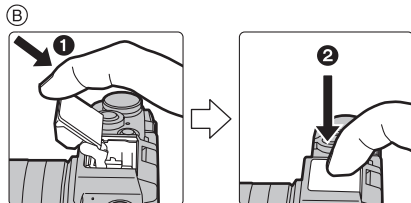
フラッシュオープンレバーをスライドさせる



② 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、に固定されます。



フラッシュモードを切り換える

使えるモード：

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 メニューを設定する(P30)

[MENU] ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

: 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
: 赤目軽減強制発光	● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
: スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。
: 赤目軽減 スローシンクロ	● 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ● シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。

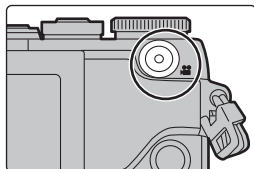
動画を撮る

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**     

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。



2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。
- 周囲の温度が高いときや連続で撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、本機を保護するために以下の制限が働きます。
 - ー連写撮影、動画撮影、Wi-Fi接続が一時的に使用できなくなります
 - ー画面上に[△]が点滅した場合、そのまま撮影を続けるとメッセージが表示され、電源が自動的に切れます

記録経過時間 記録動作表示



記録可能時間

■ フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する メニューを設定する(P30)

MENU ボタン →  [動画] → [記録方式]

AVCHD	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
MP4	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

MENU ボタン →  [動画] → [画質設定]

[AVCHD]を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
FHD/28M/60p※	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/17M/60i	1920×1080	60i	60コマ/秒	17 Mbps
FHD/24M/30p	1920×1080	60i	30コマ/秒	24 Mbps
FHD/24M/24p	1920×1080	24p	24コマ/秒	24 Mbps

※ AVCHD Progressive

[MP4]を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
FHD/28M/60p	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920×1080	30p	30コマ/秒	20 Mbps
HD/10M/30p	1280×720	30p	30コマ/秒	10 Mbps
VGA/4M/30p	640×480	30p	30コマ/秒	4 Mbps

スナップムービーを撮る

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**     

撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- [MP4]の[FHD/20M/30p]で撮影されます。
- 本機で撮影した動画を、スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」でつなぎ合わせて音楽を付けることなどができます。つなぎ合わせた動画をWebサービスへ送ることもできます。(P72)

1 メニューを設定する(P30)

MENU ボタン →  [動画] → [スナップムービー]

2 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び [MENU/SET] ボタンを押す

撮影時間	動画撮影する時間を設定します。 [8秒]、[6秒]、[4秒]、[2秒]
ピント送り	撮影開始時にピントをゆっくりと変えることで、ドラマチックな映像表現を行います。 [ON]、[OFF]
フェード	映像と音声が始るとフェードイン(ゆっくりと現れる)または、撮影の終了にかけてフェードアウト(ゆっくりと消える)する効果です。 [WHITE-IN]、[WHITE-OUT]、[BLACK-IN]、[BLACK-OUT]、 [COLOR-IN]、[COLOR-OUT]、[OFF]

4 [Q.MENU/↵] ボタンを押す

5 [MENU/SET] ボタンを押す

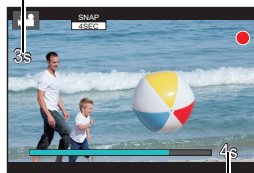
6 ▲/▼ ボタンで [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。
- [ピント送り] を [ON] に設定した場合は、ピント送りの設定をしてください。

7 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。

記録経過時間



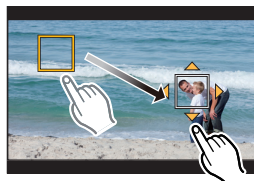
設定した撮影時間

■ スナップムービーを解除するには
手順2で [OFF] を設定してください。

■ [ピント送り] の設定をする

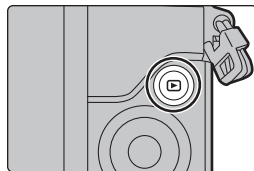
開始位置(1点目)と終了位置(2点目)の枠を選んで、被写体との距離を測り、ピントを設定します。動画撮影を開始すると、1点目の枠から2点目の枠へピント送りが働きます。

- 被写体をタッチし(1点目)、ドラッグして指を離す(2点目)
- オートフォーカスが働き、開始と終了のピントを設定します。
設定に失敗したときは、枠が1点目に戻ります。もう一度やり直してください。
 - [ AF OFF] をタッチすると、枠の設定が解除されます。



写真を見る

- 1 [▶] ボタンを押す
- 2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す
◀: 前の画像へ ▶: 次の画像へ



Web サービスへの送信について

画像を1枚ずつ表示中、▼ ボタンを押すと手軽にWebサービスへ送ることができます。
(詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください)

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD、MP4 または QuickTime Motion JPEG です。

- 動画には動画アイコン([🎥])が表示されます。

▲ ボタンを押して再生する



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容
▲	▶/	再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生*
	◀	コマ戻し(一時停止中)
🔊	—	音量下げる

ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生*
	▶	コマ送り(一時停止中)
🔊	+	音量上げる

※もう一度 ▶/◀ ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

- 一時停止中に[MENU/SET]ボタンを押すと、動画から写真を作成できます。

再生方法を切り換える

再生画面を拡大する(再生ズーム)

コントロールダイヤルを右側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、コントロールダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押す、または画面をドラッグ(P27)すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大(2倍)することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。

ズーム位置表示



複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

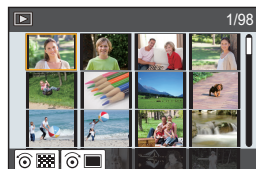
コントロールダイヤルを左側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー画面表示

- コントロールダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

・[]: 1画面 ・[]: 12画面
・[]: 30画面 ・[CAL]: カレンダー再生

- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。



画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 コントロールダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



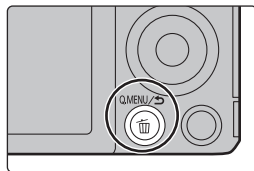
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

1 枚消去

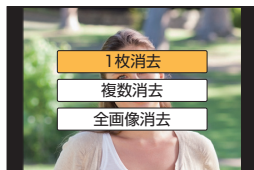
1 再生状態で消去する画像を選び、[画] ボタンを押す

- [画] をタッチしても同じ操作ができます。



2 ▲ ボタンで [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。



複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 再生状態で [画] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで [複数消去] または [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [全画像消去] → 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。
- [全画像消去] 選択時、[お気に入り以外全消去] を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去] 選択時) ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に [画] が表示されます。
もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。

4 ([複数消去] 選択時) ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。



見る

撮影した動画を2つに分ける(動画分割)

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。

1 メニューを設定する(P30)

MENU ボタン→**[再生]**→**[動画分割]**

2 ◀/▶ ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割したい位置で▲ ボタンを押す

- 一時停止中に ◀/▶ ボタンを押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。



- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

Wi-Fi® 機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

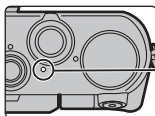
本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク(SSID※)が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ ご使用の前に

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P21)
- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたはIEEE802.11n対応のものをご使用ください。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



Wi-Fi接続ランプ

青色点灯: Wi-Fi接続の待機中

青色点滅: Wi-Fi接続の送受信中

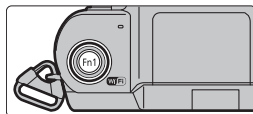
■ [Wi-Fi] ボタンについて

[Wi-Fi]/[Fn1]ボタンは、[Wi-Fi]と[Fn1](ファンクション1)の2通りの使い方ができます。お買い上げ時は、[Wi-Fi]が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは32ページをお読みください。
- 液晶モニターを回転させて自分撮りモードにしているときは、[Wi-Fi]/[Fn1]ボタンはシャッターボタンに変わります。

Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを押す (スマートフォンと接続時)

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報が表示されます。(P67)
- [DISP.]ボタンを押すと、以下の項目を選択できます。



新規に接続する	—
履歴から接続する	以前と同じ設定で接続します。 履歴をお気に入り登録する ① 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す ② 登録名を入力する
お気に入りから接続する	お気に入り登録された設定で接続します。

Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すと

- 以下の項目を選択できます。

接続を終わる

接続先を変える

画像の送信設定を変える

今の接続先をお気に入りに入れる

ネットワークアドレス表示

Wi-Fi 機能でできること

スマートフォンとつないで使う(下記)

- スマートフォンで撮影する (P69)
- カメラの画像を再生する (P69)
- カメラの画像を保存する (P70)
- 画像を SNS へ送信する (P70)
- 位置情報をカメラの画像に書き込む (P71)
- スナップムービーで撮影した動画をスマートフォン/タブレットでお好みに結合する (P72)



テレビに写真を映す

ワイヤレスでプリントする

AV 機器に画像を送る

パソコンに画像を送る (P72)

Web サービスを利用する



- 以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。
- さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をお読みください。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

● 対応 OS

Android™: Android 2.3.3 以上※

iOS: iOS 6.0 以上 (ただし iPhone 3GS には対応していません)

※ [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct® に対応している必要があります。

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App StoreSM」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2015年1月現在のもので、対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

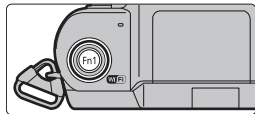
スマートフォン/タブレットと接続する

iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad)、Android 機器 共通

パスワードを入力せずに接続する

[Wi-Fi] ボタンを押すことで、簡単にスマートフォンとの直接接続ができます。

- 1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする

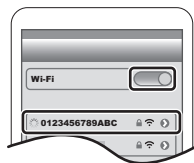


- 3 スマートフォンの画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- 4 スマートフォンで「Image App」を起動する

- カメラに接続確認画面が表示されるので、[はい] を選んでください。
(初回接続時のみ)



SSID



- お買い上げ時は [Wi-Fi パスワード] が [OFF] に設定されているため、第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み取られるおそれがあります。パスワードを利用するには、[Wi-Fi パスワード] を [ON] に設定してください。(P68)

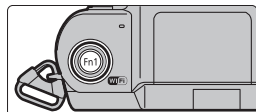
iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad)、Android 機器 共通

パスワードを入力して接続する

準備:[Wi-Fiパスワード]を[ON]に設定する。

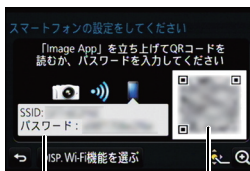
(**MENU** ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[Wi-Fiパスワード]→[ON])

- 1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi機能を ONにする

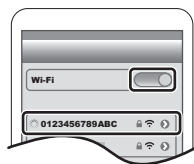


- 3 スマートフォンの画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- 4 カメラに表示されたパスワードをスマートフォンに入力する

- Android 機器をお使いの場合、パスワードを表示のボックスにチェックを入れておくと、入力中のパスワードを確認しながら入力できます。



SSID、
パスワード



- 5 スマートフォンで「Image App」を起動する

- QRコードを使って接続することもできます。詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad)、Android 機器 共通

接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

- 1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを押す(P66)
- 2 スマートフォンで「Image App」を終了する

(iOS 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面でホームボタンを押してアプリを終了する

(Android 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面で戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する

スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影)

1 スマートフォンと接続する(P67)

2 スマートフォンを操作する

① [📶]を選ぶ

② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

- 周囲の温度が高いときや連続で撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、本機を保護するために以下の制限が動きます。本機の温度が下がるまでお待ちください。
 - 連写撮影、動画撮影、Wi-Fi接続が一時的に使用できなくなります
 - 画面に[⚠]が点滅した場合、そのまま撮影を続けるとメッセージが表示され、電源が自動的に切れます



■ ジャンプ中の写真を撮影する

スマートフォンを持ってジャンプすると、スマートフォンがジャンプの頂点を検知して自動的にシャッターを切ることができます。ジャンプ中の写真を撮るときに便利です。

スマートフォンを操作する

[☰]→[リモートビュー設定]→[ジャンプスナップ]→感度を選ぶ

- スマートフォンのリモート撮影画面に[📷]が表示されます。
- 試し撮りをして、カメラのアングルやジャンプの強さを調整することをお勧めします。
- 詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。

カメラの画像を再生する

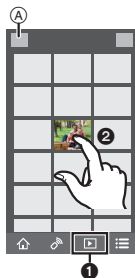
1 スマートフォンと接続する(P67)

2 スマートフォンを操作する

① [📺]を選ぶ

- 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。

② 画像をタッチして拡大する



カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する(P67)

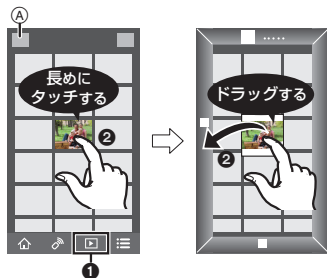
2 スマートフォンを操作する

① [] を選ぶ

- 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。

② 画像を長めにタッチし、ドラッグして保存する

- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。
- RAW形式の写真、[AVCHD]の動画は保存できません。



カメラの画像をSNSへ送信する

1 スマートフォンと接続する(P67)

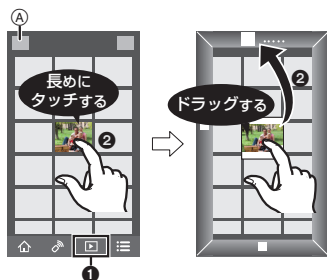
2 スマートフォンを操作する

① [] を選ぶ

- 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。

② 画像を長めにタッチし、ドラッグして SNS などに送信する

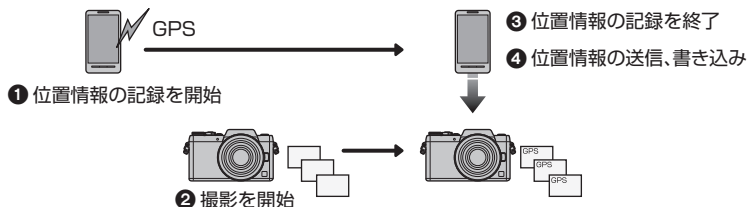
- SNSなどのWebサービスに画像が送信されます。



- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。

スマートフォン / タブレットから カメラの画像に位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後にカメラの画像に書き込むこともできます。



■ スマートフォンを操作する

- 1 スマートフォンと接続する(P67)
- 2 []を選ぶ
- 3 [ジオタギング]を選ぶ
- 4 アイコンを選ぶ



	位置情報の記録を開始/停止します。
	位置情報の送信、書き込みを行います。 ● 画面のメッセージに従って、操作してください。 ● 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

スナップムービーで撮影した動画を スマートフォン/タブレットでお好みに結合する

スマートフォンを使って、カメラの[スナップムービー]で撮影した動画(P59)をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を保存したり、Webサービスへアップロードしたりできます。

1 スマートフォンと接続する(P67)

2 スマートフォンを操作する



① [家]を選ぶ

② [スナップムービー]を選ぶ

- [スナップムービー]で撮影した動画のうち、日付の新しいものからいくつか、自動でスマートフォンに送信されます。
- 日付の新しい動画がない場合は動画の選択画面が表示されるので、動画を選んで送信してください。

③ 動画を編集する

- 「Image App」の[スナップムービー]の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

- 「Image App」の[スナップムービー]は、Android OS 4.3以上に対応している必要があります。
- 「Image App」の[スナップムービー]は、iPhone 4、iPod touch(第4世代)には対応していません。

無線アクセスポイントを経由してパソコンと接続する

画像を受信するフォルダーを作成する

パソコンに画像を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。

- パソコンのユーザーアカウント(アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内))は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合 (Windows をお使いの場合)

1 PHOTOfunSTUDIO をインストールする

- 動作環境やインストールについて、詳しくは 76 ページの「付属のソフトウェアを使う」をお読みください。

2 PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合 (Mac をお使いの場合)

対応 OS: OS X v10.5 ~ v10.10

例) OS X v10.8

1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする

「ファイル」→「情報を見る」

2 フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。

接続方法の一例を紹介しています。その他の接続方法について詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をお読みください。

準備

- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。

1 メニューを設定する (P30)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]

2 送信方法を選ぶ

- 受信するフォルダーを設定しておく必要があります。(P72)

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

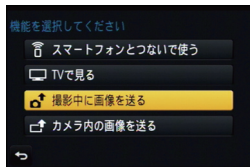
写真を撮るたびに、パソコンに自動で画像を送ることができます。

- 送信できる画像形式: JPEG/RAW/MPO

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

撮影後に画像を選んでパソコンに送ることができます。

- 送信できる画像形式: すべての画像形式



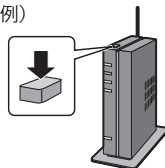
3 [PC]を選ぶ

4 接続方法を選ぶ

[WPS(押しボタン)]で接続する例

- ① [ネットワーク経由]を選ぶ
- ② [WPS(押しボタン)]を選ぶ
- ③ 無線アクセスポイントが WPS モードになるまで、無線アクセスポイントの WPS ボタンを押す

(例)



5 (目的に応じて)カメラを操作する

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

- ① 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ*
- ② カメラで撮影する

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

- ① 接続したいパソコンおよび送信先のフォルダーを選ぶ*
- ② [1枚選択]または[複数選択]を選び、送信したい画像を選ぶ

※接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピューター名(Apple社製 Mac パソコンの場合はNetBIOS名)を入力してください。

●設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P66)

- 設定されたフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名(Apple社製 Mac パソコンの場合はNetBIOS名)に変更することをお勧めします。

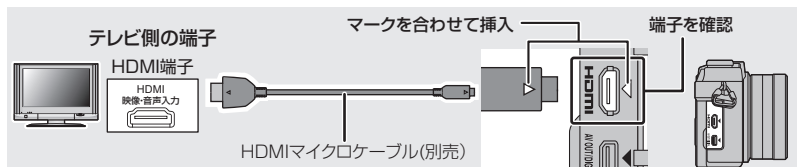
テレビで見る

準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機とテレビをつなぐ

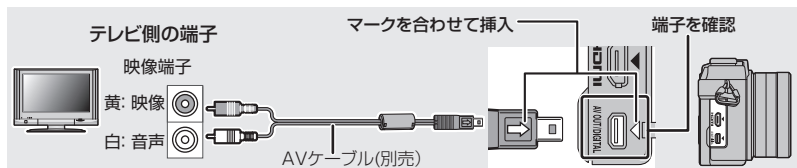
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMIマイクロケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 HDMI マイクロケーブル(別売)をお使いください。
- 品番: RP-CHEU15A (1.5 m)、RP-CHEU20A (2.0 m)

AV ケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 AV ケーブル(別売)をお使いください。
- 品番: DMW-AVC1

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [ピエラリンク] を [ON] に設定して、HDMI マイクロケーブルでピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。
- テレビの説明書もお読みください。

写真や動画をパソコンに残す

■ 使用できるパソコン

マストストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合: Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
- Mac の場合: OS X v10.5 ~ v10.10



AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずCD-ROM(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、画質設定によっては、取り込みできません。(iMovieの詳細は、Apple にお問い合わせください)

付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.6 PE

(Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio 4.2 SE

(Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1、
Mac OS X v10.5 ~ v10.10)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版

(Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

LoiLoScopeは、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
使い方 Web サイト:<http://loilo.tv/product/20>

■ ソフトウェアをインストールする

- CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO」の動作環境

対応OS	Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit) Windows® 8.1 (32 bit/64 bit)	
CPU	Windows Vista®	Pentium® III 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® III 1 GHz以上
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows Vista®	512 MB以上
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

- 「SILKYPIX Developer Studio」の動作環境は、76ページのサポートサイトをお読みください。

2 CD-ROMを入れる

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8/Windows 8.1 ではCD-ROMを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[SFM○○○○](○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

3 [アプリケーション]をクリックする

4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。

- ①CD-ROM を入れる
- ②CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする



こんなときは使えません

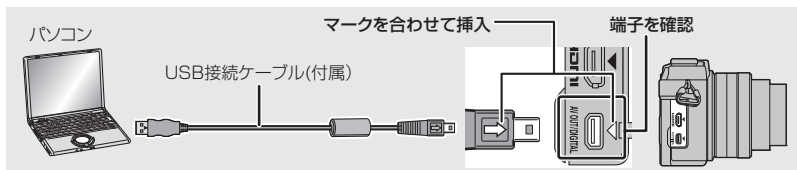
- 「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

■ パソコンに画像を取り込む

準備: お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売: DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード](P90)を[PC]に設定しておく、[USBモード] の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

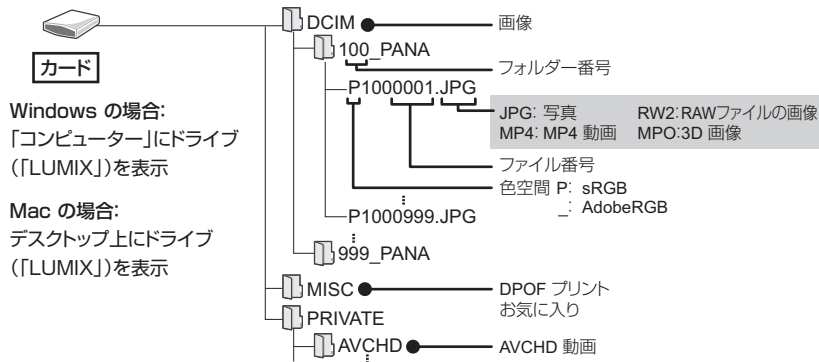
3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

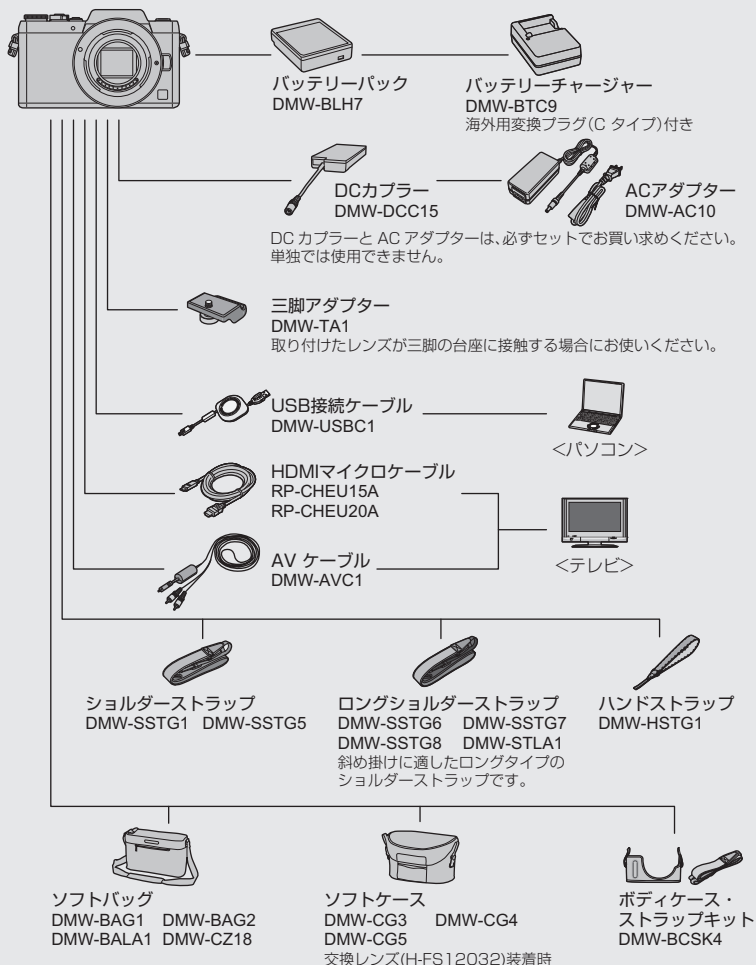
■ 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

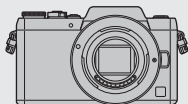
「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

- 本機のカードの中(フォルダー構造)は以下のようになります。



別売品のご紹介





ボディキャップ
DMW-BDC1

					
交換レンズ	MCプロテクター	NDフィルター	PLフィルター (サキュラタイプ)	レンズキャップ	レンズリア キャップ
H-FS12032	DMW-LMCH37	DMW-LND37	DMW-LPL37 DMW-LPLA37	DMW-LFC37A DMW-LFC37B	DMW-LRC1
H-FS35100	DMW-LMC46	DMW-LND46	DMW-LPL46	DMW-LFC46	

交換レンズ

H-PS45175	H-PS14042	H-VS014140	H-FS14140	H-HS35100
H-HS12035	H-FS45150	H-FS100300	H-FS045200	H-FS35100
H-FS1442A	H-FS014045	H-FS12032	H-F007014	H-F008
H-ES045	H-NS043	H-X025	H-X015	H-H020A
H-H014A	H-H014			



3D交換レンズ
H-FT012



マウントアダプター
DMW-MA1

＜交換レンズ＞
(フォーサーズマウント)



ライカレンズ用マウントアダプター
DMW-MA2M

＜交換レンズ＞
(ライカ M マウント)



ライカレンズ用マウントアダプター
DMW-MA3R

＜交換レンズ＞
(ライカ R マウント)

●別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
記載の品番は2015年 1月現在のものです。変更されることがあります。

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

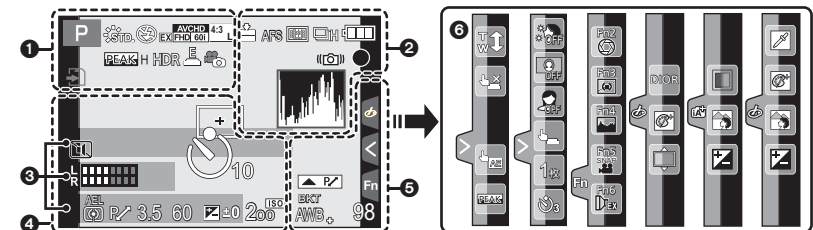
別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

モニターの表示

モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 再生時の画面については、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

撮影時



1

IA AFS P A S M ISO WB AE-L/AF-ON 撮影モード(P25)	
STD. VIVID NAT MONO SCN PORT CUST フォトスタイル(P85)	
⚡ ⚡ ⚡ ⚡ ⚡ フラッシュモード(P57)	
⚡ 2nd フラッシュ設定	
EX PHI 60 EXテレコン(動画時)(P56)	
AVC-HD PHI 60 記録方式/画質設定(P58)	
SNAP ASSOC. スナップムービー(P59)	
43 L 記録画素数/画像横縦比(P45)	
43 M EXテレコン(写真時)(P56)	
🌀 画像効果(フィルター)調整表示	
POP 画像効果(フィルター)種別	
📷 カード(記録時のみ表示)	
XXhXXmXXs 記録経過時間*1(P58)	
📷 同時記録表示	
PEAK H PEAK L ピーキング(P88)	
HDR HDR(P85)/iHDR(P35)	
📷 多重露出(P85)	

📷 デジタルズーム(P86)	
E 電子シャッター(P51)	
📷 写真撮影(写真優先)(P87)	
⚠ 温度上昇表示(P92)	

2

RAW クオリティ(P46)	
AFS AFF AFC MF フォーカスモード(P46)	
📷 📷 📷 📷 + オートフォーカスモード(P47)	
📷 ピント送り(P60)	
📷 個人認証(P86)	
AFL AFロック(P49)	
📷 📷 📷 📷 📷 📷 連写(P52)	
📷 B オートブラケット(P53)	
📷 📷 📷 📷 📷 セルフタイマー(P54)	
📷 バッテリー残量	
📷 手ブレ補正*2(P55)	
📷 手ブレ警告	
● 記録動作(赤点滅)/フォーカス(緑点灯)(P24)	
LOW フォーカス(低照度時)	
📶 Wi-Fi 接続状態	
📷 ヒストグラム表示(P88)	

3

名前 ^{*3} (P86)
トラベル経過日数 ^{*4} (P90)
月齢/年齢 ^{*3} (P86)
旅行先 ^{*4} (P90)
現在日時/旅行先設定 ^{*4} :  (P90)
露出メーター(P89)
焦点距離表示
ステップズーム

4

	AFエリア(P47)
+	スポット測光ターゲット
	セルフタイマー ^{*5} (P54)
	マイクレベル表示(P87)
	サイレントモード(P54)
AEL	AEロック(P49)
	測光モード(P85)
P 	プログラムシフト(P38)
3.5	絞り値(P24)
60	シャッタースピード(P24)
	露出補正值(P50)
	明るさ(P35)
	マニュアル露出アシスト(P40)
200 	ISO感度(P50)

5

	ダイヤル操作ガイド(P89)
BKT	ホワイトバランスブラケット
AWB 	ホワイトバランス微調整
	ホワイトバランス(P44)

	色合い(P36)
98	記録可能枚数 ^{*6} (P19)
残XXmXXs	記録可能時間 ^{*1,6} (P20)

6

タッチタブ

		タッチズーム
		タッチシャッター(P28)
		タッチ AE(P29)
		ピーキング(P88)
		自分撮りモード(P36)
		
		
		
		ファンクションボタン(P32)
		
		
		
		色合い(P36)
		ボケ味コントロール(P35)
		明るさ(P35)
		ぼかし方(ジオラマ)
		ワンポイントカラー
		光源の位置
		画像効果(フィルター)調整
		画像効果(フィルター)(P85)

※ 1 hは「hour(時間)」, mは「minute(分)」, sは「second(秒)」を省略した表示です。

※ 2 手ブレ補正機能対応レンズ装着時のみ表示されます。

※ 3 [プロフィール設定]を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

※ 4 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

※ 5 カウントダウン中に表示されます。

※ 6 カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。ここではその主なメッセージを例として説明しています。

●「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くのメッセージの例が記載されていますので、併せてご確認ください。

消去できない画像があります/この画像は消去できません

DCF 規格に準拠していない画像は消去できません。

パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P19)してください。

メモリーカードエラー/フォーマットしますか？

本機では使用できないフォーマットです。

- 別のカードを入れてお試ください。
- パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P19)し直してください。データは消去されます。

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度付け直してください。(P20)
再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

本機に対応したカードをお使いください。(P19)

カードを入れ直してください/別のカードでお試ください

- カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試ください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。
- カードが破壊されている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試ください。

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。

送信できる画像がありません

送信先の制限によって、送信できる画像が1つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。

メニュー一覧

- [フォトスタイル]、[フィルター設定]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

撮影

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
フィルター設定	画像効果(フィルター)に関する設定をします。
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。(P45)
記録画素数	記録画素数を設定します。(P45)
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。(P46)
ISO 感度	光に対する感度 (ISO 感度) を設定できます。(P50)
フォーカスモード	ピントの合わせ方を設定します。(P46)
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。
連写速度	連写時の連写速度を設定します。
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。(P53)
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。
超解像	より輪郭のはっきりした、解像感がある画像を撮影します。
i 手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し 1 枚の画像に合成します。(P34)
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。(P35)
HDR	露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。
多重露出	1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。
インターバル撮影	撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、時間経過を追って動植物などの被写体を自動的に撮影することができます。

撮影 (続き)

コマ撮りアニメ	写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。
パノラマ撮影方向	パノラマ撮影の撮影方向を設定します。
シャッター方式	電子先幕と電子シャッターを使い分けて撮影することができます。(P51)
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。(P57)
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。
ISO感度上限設定	ISO感度が [AUTO] または [ISO] のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を 1/3 EV ごと、または 1 EV ごとの設定値に変更します。
拡張 ISO 感度	ISO 感度が最小 [ISO 100] まで設定できるようになります。
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。
シェーディング補正	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。
EX テレコン(写真)	記録画素数を [L] 以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。(P56)
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。(P55)
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や年齢/年齢を画像に記録することができます。



動画

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。
フィルター設定	画像効果(フィルター)に関する設定をします。
スナップムービー	撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。(P59)
記録方式	記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。(P58)
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、記録フレームレートなど)を設定します。(P58)
フォーカスモード	ピントの合わせ方を設定します。(P46)
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影します。
EX テレコン(動画)	望遠効果を高めます。(P56)
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。
マイクレベル設定	音声入力レベルを 4 段階に調整します。
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。

カスタム

サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。(P54)
AF/AEロック切換	AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。
シャッター半押しリリース	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。
クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[+]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。
ピンポイントAF表示	オートフォーカスモードを[+]に設定したときのアシスト画面を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。
フォーカス/リリース優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。
MFアシスト	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。
MFアシスト表示	MFアシスト(拡大画面)を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。
MFガイド	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MFガイドを画面に表示します。
ピーキング	手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起きている部分を黒と白の点滅で表示します。
ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。
常時レビュー (M モード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。(P40)

Ⓕ カスタム（続き）

露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。
ダイヤル操作ガイド	ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示します。
ファンクション Fn ボタン設定	ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。(P32)
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。
iA ボタン切換	インテリジェントオート( または )モードに切り換えるときの[]ボタンの操作方法を設定します。
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。
パワーズームレンズ	パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。
フォーカスリング無しレンズ	フォーカスリングのない交換レンズ使用時の、マニュアルフォーカス中の動作を設定します。
自分撮り	モニターを回転させて自分撮りモードにする、しないを設定します。
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。
メニューガイド	モードダイヤルを  /  に切り換えたときに表示される画面を設定します。
レンズ無しリリース	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。

🔧 セットアップ

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P21)
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。
電子音	電子音や電子シャッター音を設定します。
ライブビューモード	撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。
モニター調整	モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。
エコモード	バッテリーの消耗を防ぐための設定ができます。
USBモード	USB接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。
テレビ接続設定	テレビなどとの接続のしかたを設定します。
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。
メニューインフォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。
バージョン表示	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源 OFF 時に露出補正量をリセットすることができます。
セルフタイマー自動解除	電源スイッチを[OFF]にしたときに、セルフタイマーを解除する、しないを設定します。
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fi メニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く)
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。(P98)
フォーマット	カードをフォーマット(初期化)します。(P19)

再生

2D/3D 切換	3D 画像の再生方法を切り換えます。
スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。
位置情報記録	スマートフォンから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。
クリアタッチ	撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。
タイトル入力	撮影した画像に文字(コメント)を入力します。
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。
動画分割	撮影した動画を 2 つに分割します。(P64)
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りグループから動画を作成します。
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。
画像回転	画像を手動で 90° ずつ回転させます。
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。
画像表示順	本機で画像を再生するときの表示順を設定します。
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢 [はい]/[いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P92～96)をお試ください。

それでも解決できない場合は、セッアップメニューの[設定リセット](P90)を行うと症状が改善する場合があります。

これらの処置をしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(P109)をお読みください。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くの Q&A が記載されていますので、併せてご確認ください。

電源スイッチを [ON] にしても動作しない。またはすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。
→ 充電してください。
- 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。
→ [エコモード](P90)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影中に電源が勝手に切れる。

- 周囲の温度が高いときや連続で撮影を行ったときなど、本機の温度が上昇すると、本機を保護するために以下の制限が働きます。本機の温度が下がるまでお待ちください。
 - 連写撮影、動画撮影、Wi-Fi 接続が一時的に使用できなくなります
 - 画面に [△] が点滅した場合、そのまま撮影を続けるとメッセージが表示され、電源が自動的に切れます

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。(P24)
- 手ブレや被写体ブレしています。(P55)
- [フォーカス/リリース優先] が [リリース] になっていませんか？ (P88)
- 不適切な状態で AF ロック (P49) がかかっていませんか？

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。
 - 本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P22)
 - 遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー (P54) を使って撮影してください。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。(P51)

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで撮影していませんか？(P51)
→電子シャッター使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。



撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波(電波塔、高圧線など)により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じていませんか？フラッシュを開いてください。(P57)
- 電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。(P51)
→[シャッター方式]を[AUTO]または[電子先幕]に設定してください。
- サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P54)
→[サイレントモード]を[OFF]に設定してください。

再生できない。撮影した画像がない。

- カードは入っていますか？
- カードに再生できる画像はありますか？
- パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生することはできません。
→パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード]を設定していませんか？
→[通常再生]に設定してください。

フォルダー・ファイル番号が[－]で表示されたり、画面が黒くなる。

- 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？
- 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？
→このような画像を消去するには、バックアップをとりフォーマット(P19)してください。

画面に「サムネイル表示」と表示される。

- 他機で撮影された写真ではありませんか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

■ Wi-Fi 接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか？
→同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

■ 無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
 - 本機と無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
 - 本機の向きを変えてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
 - [マニュアル入力]を行ってください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1～11チャンネルの中から選び、設定してください。
 - 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。

- 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください)
- 5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか？
→5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

パソコンに画像を送信できない。

- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi 機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi 設定] メニューの [PC 接続設定] の [変更する] で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。
- 本機と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OSによっては接続できないことがあります。
→本機の[時計設定]/[ワールドタイム]が、Windowsの「日付と時刻」/「タイムゾーン」、または Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか確認してください。大きくずれている場合は、合わせてください。

Windows 8のパソコンとWi-Fi接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8など、OSのバージョンによっては2種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoft アカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
→[送信サイズ] で画像サイズを小さくして送信してください。
- [動画分割] (P64) で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。
- Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。
→「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。

テレビで動画の再生ができない。

- カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？
→AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P75)

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- HDMIマイクロケーブル(別売)で正しく接続されていますか?(P75)
- 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか?
→ 入力切替が自動で切り換わらない場合はテレビのリモコンを使って入力切替してください。
→ 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
→ 本機の電源を入れ直してください。
→ テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)

電源を切っているときに(スリープモードを含む)シャッターが閉じたままになっている。

- 振動によってシャッターが閉じる場合がありますが、故障ではありません。マウント内に指を入れないでください。電源を入れるとシャッターが開きます。

レンズ部から音がする。

- 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

本機が熱くなる。

- ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→ 「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P21)

使用上のお願い

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)では、より多くが記載されていますので、併せてご確認ください。

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

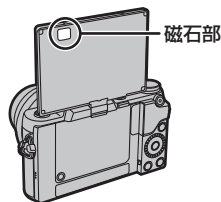
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

本機の磁石部にクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。



お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に動きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング]を行ってください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

- ブロワー（市販）で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気を付けください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

バッテリーについて

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



Li-ion 20

充電式

リチウムイオン
電池使用

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

●G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。

●マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他の各国の商標または登録商標です。

●フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他の各国の商標または登録商標です。

●SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

●“AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●HDAVI Control™ は商標です。

●Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

●WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

●iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

●App StoreはApple Inc. のサービスマークです。

●Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。



- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®”、“Wi-Fi Direct®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC ビデオ) を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記 (3) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブル、または当社製USB接続ケーブル (別売: DMW-USBC1) 以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル (別売: DMW-AVC1) をお使いください。
- 当社製 HDMI マイクロケーブル (別売: RP-CHEU15A, RP-CHEU20A) をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、Wi-Fi メニューの[認証情報]で確認できます。

下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。

2.4DS/OF4

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス)で相談窓口

365日

受付9時～20時

パナは ルミックスバチ!

電話 フリー



0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号をご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■FAX

フリーダイヤル

06 0120-878-236

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

- 1 セットアップメニューの [Wi-Fi] を選ぶ
- 2 Wi-Fi メニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ
- 3 ▲/▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 8.4 V
消費電力	2.3 W (撮影時) [交換レンズ (H-FS12032) 装着時] 2.2 W (撮影時) [交換レンズ (H-FS35100) 装着時] 1.5 W (再生時) [交換レンズ (H-FS12032) 装着時] 1.6 W (再生時) [交換レンズ (H-FS35100) 装着時]

カメラ有効画素数	1600万画素
撮像素子	4/3型 Live MOS センサー 総画素数 1684 万画素、 原色カラーフィルター
デジタルズーム	最大4倍
EX テレコン	写真時：最大 2 倍 (記録画素数 [S] (4 M)、画像横縦比 [4:3] 選択時) 動画時：2.4 倍/3.6 倍/4.8 倍
フォーカス	オートフォーカス/ マニュアルフォーカス 顔・瞳認識/追尾AF/23点/1点/ピンポイント (タッチフォーカスエ リア選択可能)
シャッター方式	電子制御式単幕フォーカルプレーンシャッター / 電子式シャッター
連写撮影	
連写速度	メカシャッター：5.8コマ/秒 (高速、AFS)、5コマ/秒 (高速、AFC)、 4コマ/秒 (中速)、2コマ/秒 (低速) 電子シャッター：40コマ/秒 (超高速)、10コマ/秒 (高速)、 4コマ/秒 (中速)、2コマ/秒 (低速)
連写コマ数	最大7コマ (RAW ファイルあり) カードの空き容量に依存 (RAW ファイルなし)
ISO 感度 (標準出力感度)	オート/インテリジェントISO/100 */200/400/800/1600/ 3200/6400/12800/25600 (1/3 EV ステップに変更可能) ※ [拡張ISO感度] を設定時のみ
最低被写体照度	約 9 lx (i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ (H-FS12032) 装着時] 約 12 lx (i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ (H-FS35100) 装着時]
シャッタースピード	写真：T (タイム) (最大約 60 秒間)、60 ~ 1/500 秒 (メカシャッター時) 1 ~ 1/16000 秒 (電子シャッター時) 動画：1/25 ~ 1/16000 秒
測光範囲	EV 0 ~ EV 18
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ ホワイトセット 1/ホワイトセット 2/色温度設定

露出	プログラムAE (P)、絞り優先AE (A)、シャッター優先AE (S)、マニュアル露出 (M)、オート 露出補正 (1/3 EVステップ、-5 EV～+5 EV)
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光
モニター	3.0 型 TFT 液晶 (3:2) (約104万ドット) (視野率約100%) タッチパネル
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 GN5.6相当 (ISO200・m) [GN4.0 相当 (ISO100・m)] 撮影可能範囲：約0.4 m～約4.5 m [交換レンズ (H-FS12032) 装着、W端、[ISO AUTO] 設定時] 撮影可能範囲：約0.9 m～約4.0 m [交換レンズ (H-FS35100) 装着、W端、[ISO AUTO] 設定時] オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/ スローシンクロ/赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
フラッシュ同調速度	1/50 秒以下 (メカシャッター時)
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード※/SDXCメモリーカード※ ※ UHS-I 対応
記録画素数	
写真	画像横縦比[4:3]設定時 4592×3448画素/3232×2424画素/2272×1704画素 画像横縦比[3:2]設定時 4592×3064画素/3232×2160画素/2272×1520画素 画像横縦比[16:9]設定時 4592×2584画素/3840×2160画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 3424×3424画素/2416×2416画素/1712×1712画素
画質設定	
動画	[AVCHD] 1920×1080/60p/センサー出力60コマ/秒 (28 Mbps) 1920×1080/60i/センサー出力60コマ/秒 (17 Mbps) 1920×1080/60i/センサー出力30コマ/秒 (24 Mbps) 1920×1080/24p/センサー出力24コマ/秒 (24 Mbps) [MP4] 1920×1080/60p/センサー出力60コマ/秒 (28 Mbps) 1920×1080/30p/センサー出力30コマ/秒 (20 Mbps) 1280×720/30p/センサー出力30コマ/秒 (10 Mbps) 640×480/30p/センサー出力30コマ/秒 (4 Mbps)

仕様（続き）

クオリティ（圧縮率）	RAW/RAW+ ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO+ファイン/MPO+スタンダード	
記録画像ファイル形式		
写真	RAW/JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応）/MPO	
動画	AVCHD Progressive/AVCHD/MP4	
音声圧縮方式	AVCHD	Dolby® Digital（2ch）
	MP4	AAC（2ch）
インターフェース		
デジタル	USB 2.0（High Speed）	
アナログビデオ	NTSC コンポジット	
オーディオ	オーディオライン出力（モノラル）	
端子		
[AV OUT/DIGITAL]	専用ジャック（8pin）	
[HDMI]	microHDMI Dタイプ	
寸法	約 幅 106.5 mm×高さ 64.6 mm×奥行き 33.3 mm （突起部除く）	
質量	約 266 g（カード、バッテリー含む） 約 236 g（本体） 約 336 g［カード、交換レンズ（H-FS12032）、バッテリー含む］ 約 401 g［カード、交換レンズ（H-FS35100）、バッテリー含む］	
推奨使用温度	0℃～40℃	
許容相対湿度	10%RH～80%RH	
言語切り換え	なし（日本語のみ）	

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数範囲 （中心周波数）	2412 MHz～2462 MHz（1～11ch）
暗号化方式	Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

専用バッテリーチャージャー: DE-A99A

定格入力	100 V—240 V	50/60 Hz
入力容量	19 VA	
定格出力	DC 8.4 V	0.43 A

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLH7

電圧/容量	7.2 V/680 mAh
-------	---------------

交換レンズ

	H-FS12032 (LUMIX G VARIO 12–32 mm/ F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)	H-FS35100 (LUMIX G VARIO 35–100 mm/ F4.0–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)
焦点距離	f=12 mm～32 mm (35 mm フィルムカメラ換算: 24 mm～64 mm)	f=35 mm～100 mm (35 mm フィルムカメラ換算: 70 mm～200 mm)
絞り形式	7枚羽根 円形虹彩絞り	7枚羽根 円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5 (W端時)～F5.6 (T端時)	F4.0 (W端時)～F5.6 (T端時)
最小絞り値	F22	F22
レンズ構成	7群 8枚 (非球面レンズ3枚、ED レンズ1枚)	9群 12枚 (非球面レンズ1枚、ED レンズ2枚)
撮影範囲	0.2 m～∞ [撮像面から] (焦点距離 12 mm～20 mm) 0.3 m～∞ [撮像面から] (焦点距離 21 mm～32 mm)	0.9 m～∞ [撮像面から]
最大撮影倍率	0.13× (35 mm フィルムカメラ換算: 0.26×)	0.11× (35 mm フィルムカメラ換算: 0.22×)
手ブレ補正	あり	あり
O.I.S. スイッチ	なし (手ブレ補正の設定は撮影メニュー で行います)	なし (手ブレ補正の設定は撮影メニュー で行います)
マウント	マイクロフォーサーズマウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	84° (W端時)～37° (T端時)	34° (W端時)～12° (T端時)
フィルター径	37 mm	46 mm
最大径	約55.5 mm	約55.5 mm
全長	約24 mm (レンズ先端からレンズマウ ント基準面まで、レンズ鏡筒収納時)	約50 mm (レンズ先端からレンズマウ ント基準面まで、レンズ鏡筒収納時)
質量	約70 g	約135 g

さらに詳しい説明は

本機操作の詳細については、CD-ROM(付属)の「取扱説明書 活用ガイド」に記載されています。

■ Windowsの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8/Windows 8.1 ではCD-ROMを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[SFM○○○○](○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

2 [取扱説明書]をクリックする

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)が開きます。パソコンに保存することもできます。
- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Reader が必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。(2015年1月現在)
<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

■ Macの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる

2 CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く

3 PDFファイルをダブルクリックする

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)が開きます。パソコンに保存することもできます。

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- スマートフォン/タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思っておりますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典 1	家電情報をまとめて登録／管理 購入年月や製造番号などを My 家電リストに保存できます。
ご登録特典 2	商品情報をスムーズに入手 Q&A や取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典 3	エンジョイポイントがたまる たまったポイントでプレゼントに応募できます。

お問い合わせ先：

CLUB Panasonic 事務局 (club-info @ panasonic.jp)

ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/>

■ 携帯電話からの登録方法

● 二次元バーコードを使ってアクセスする場合



● URL を入力してアクセスする場合

<http://mobile.club.panasonic.jp/>

※ 携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

■ スマートフォンからの登録方法

パナソニックが提供するスマートフォン専用アプリを使うとさらに簡単に登録できます。詳しくは 108 ページをご覧ください。

「パナソニックスマートアプリ」のご案内



「パナソニックスマートアプリ」について

パナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

「パナソニックスマートアプリ」で取扱説明書を読む

スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。



- カメラとスマートフォンをご自宅の無線アクセスポイント(無線LANルーター)につないで、ご愛用者登録することができます。
- カメラを操作できる「Panasonic Image App」などのアプリを一括で管理できます。
- お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます。

「パナソニックスマートアプリ」のダウンロード方法や
使い方はこちら

<http://panasonic.jp/pss/ap/>



- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用には、パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログインIDが必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応OSやサポート機種は上記サイトでご確認いただけます。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () —

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな?と思ったら」(84 ページと 92 ~ 96 ページ、ならびに取扱説明書 活用ガイド(PDF 形式))でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ/ダブルズームレンズキット
●品 番	DMC-GF7W
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルカメラ/ダブルズームレンズキットの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口		365日 受付9時~20時
パナは ルミックスバチ!		
電話	フリーダイヤル	 0120-878-638
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。		

● パナソニックスマートアプリの使いかたなどの相談は

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト
http://panasonic.jp/pss/ap/
パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口		365日 受付9時~20時
パナは ハチサンニ		
電話	フリーダイヤル	 0120-878-832
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。		

● 宅配修理サービスのご案内(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。(保証期間内は無料です)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラ/ダブルズームレンズキットの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・映像や音声か乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やチャージャーが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出して
おります。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
東北地区	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	川口	☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
首都圏地区	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎(03)5303-6901	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	秋葉原	☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル
	立川	☎(042)537-5611	立川市幸町4丁目3-1
	神奈川	☎(045)828-2180	横浜市戸塚区品濃町561-4
中部地区	愛知	☎(052)819-0225	名古屋市長区瑞穂区塩入町8-10
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
近畿地区	大阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
四国地区	香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
九州地区	福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
沖縄地区	沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

1114

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください



<http://club.panasonic.jp/>



※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた・
お手入れ・修理に
関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック LUMIX (ルミックス) ご相談窓口

365日

受付9時～20時

電話 フリー
ダイヤル



パナは ルミックスパチ！
0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■FAX
フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■宅配修理サービス
のご案内

(Web サイトから
もお申し込みいた
できます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

●お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、
修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。(保証期間内は無料です)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。



QuickTime

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される
Apple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015